珠洲市地域 循環型社会形成推進地域計画

平成26年12月 平成28年12月変更

珠 洲 市

目 次

| 珠洲市地域 循環型社会形成推進地域計画 | |
|--|--------|
| 1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 1 |
| (1) 対象地域 ················· | 1 |
| (2) 計画期間 ····················· | 1 |
| (3) 基本的な方向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 2 |
| 2. 循環型社会形成推進のための現状と目標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 4 |
| (1) 一般廃棄物等の処理の現状 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 4 |
| (2) 生活排水処理の現状 | 5 |
| (3) 一般廃棄物等の処理の目標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 6 |
| (4) 生活排水処理の目標 | 8 |
| 3. 施策の内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | U |
| (1) 発生抑制、再使用の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 9 |
| (2) 処理体制 | |
| (3) 処理施設の整備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 10 |
| (4) 施設整備に関する計画支援事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | |
| (5) その他の施策 | |
| 4. 計画のフォローアップと事後評価 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | |
| (1) 計画のフォローアップ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 17 |
| (2) 事後評価及び計画の見直し | 17 |
| | |
| 添付資料 | |
| | 資 1 |
| | 資 4 |
| 添付3 現有処理施設の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 資12 |
| | V/ |
| | 資13 |
| | 資16 |
| | 資20 |
| | 資21 |
| | 資22 |
| | 資23 |
| 様式3 地域の循環型社会形成推進のための施策一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 資24 |
| | V# 0 = |
| | 資25 |
| | 資26 |
| 参考資料様式 6 計画支援概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 資31 |

珠洲市地域 循環型社会形成推進地域計画

珠洲市

平成26年12月 平成28年12月 変更

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

構成市町村名 珠洲市

面 積 247. 20 km²

人 口 15,607 人

(平成27年10月1日現在)

地域の要件 豪雪地域、山村地域、半島地域、過疎地域

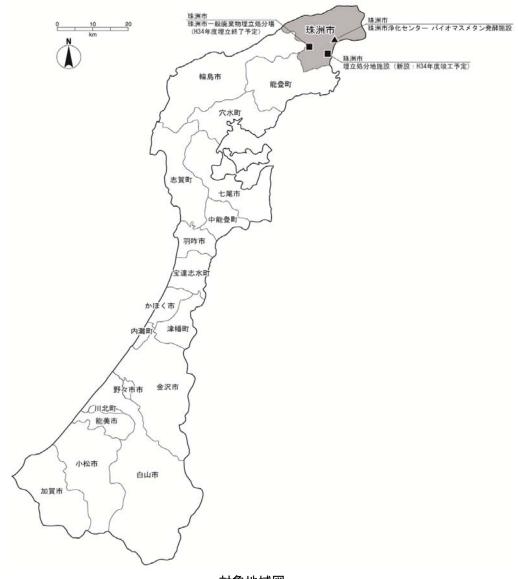
(2) 計画期間

本計画の計画期間は下記のとおりとする。

一次計画:平成27年4月1日から平成34年3月31日 7年間

二次計画:平成34年4月1日から平成39年3月31日 5年間

なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を 見直すものとする。



<u>対象地域図</u>

(3) 基本的な方向

【地域の特徴と循環型社会形成に向けた基本的な方向】

本市は、断崖地形からなる雄壮な外浦海岸とこれとは対象的に波穏やかな内浦海岸が合わさる能登半島の先端に位置し、輪島市と能登町に隣接している。県都金沢市とは約100kmの距離にある。

本市の大半が緑豊かな自然に覆われており、農林漁業等の一次産業と観光が主要な産業となっている。2011年6月には、本市を含め自然と調和した農林水産業との営みが育んだ「能登の里山里海」が、世界農業遺産に認定されている。

このような地域特性のもと、本市では地域住民、事業者、行政の三者が一体となってごみの発生抑制、再使用、資源化に向けた取り組みを推進することにより、循環型社会の構築及び人と自然と産業との調和を目指す。

【ごみ処理に関する基本的な方向性】

本市で発生する一般廃棄物は、奥能登クリーン組合が設置する奥能登クリーンセンターのごみ固形燃料化施設及びリサイクルプラザで中間処理を行っている。ごみ固形燃料化施設で燃やすごみと布製品・ひも類の処理を行いRDFを製造し、石川北部アール・ディ・エフ広域処理組合が管理運営する石川北部RDFセンターへ搬送している。また、リサイクルプラザでは資源ごみの圧縮・梱包等の処理による資源化、有害ごみの保管・資源化処理の委託及び粗大・燃やさないごみの破砕選別処理による鉄、アルミの資源化を行っている。

しかしながら、近年は、維持管理費の高騰や小規模なごみ焼却処理施設でもダイオキシン類の抑制に対応できることになったことから、平成34年度末をもって石川北部アール・ディ・エフ広域処理組合を解散し、RDFの焼却処理を停止することとなっている。このため、奥能登クリーン組合においては、可燃ごみの円滑かつ適正な処理を継続するため、ごみ固形燃料化処理から焼却処理に処理方式を移行する計画としている。

一方、奥能登クリーンセンターの中間処理により発生する残渣と委託収集・個人持込する埋立ごみは、本市が設置する埋立処分場にて最終処分を行っている。本市では、一般廃棄物埋立処分場について次期処分場整備を進めており、平成34年度に移行する計画である。

【生活排水処理に関する基本的な方向性】

本市は、下水道区域と合併処理浄化槽区域で構成されている。平成27年10月の衛生 処理率は51.5%であり、今後は以下の施策を展開することにより、衛生処理率100%を 目指す。

- ○下水道区域の接続人口の増加を図る。
- ○下水道区域等で整備が遅延している区域及び合併処理浄化槽区域については、 市町村設置型合併浄化槽の普及を推進する。

また、し尿・汚泥等の処理は珠洲市バイオマスメタン発酵施設にて行っている。本施設においては、今後も施設の維持管理を行い施設の長寿命化を図りつつ、現状の体制を継続する。

2. 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 一般廃棄物等の処理の現状

平成27年度の一般廃棄物の排出、処理状況は図2.1のとおりである。

総排出量は5,646トンであり、再生利用される「総資源化量」は1,295トン、リサイクル率は22.9%である。

中間処理による減量化量は3,278トンであり、総排出量の58.1%が減量化されている。また、減量化・資源化処理後の最終処分量は1,073トンであり、総排出量の19.0%が埋め立てられている。

なお、中間処理として石川北部RDFセンターでは、RDFのガス化溶融処理を行い、 余熱利用(発電)と溶融スラグの利用による資源化を行っている。

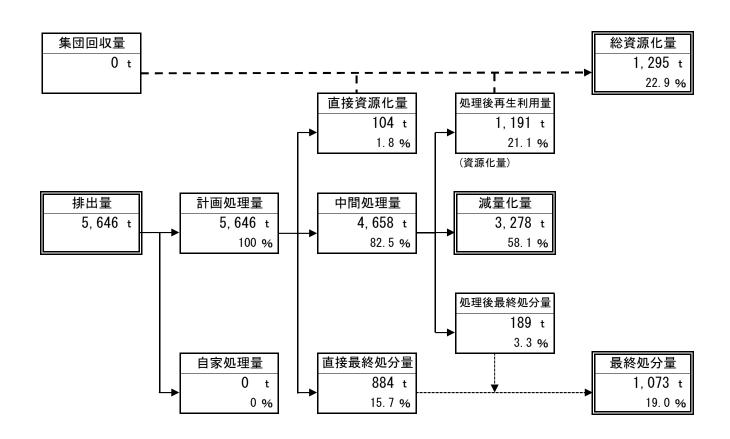
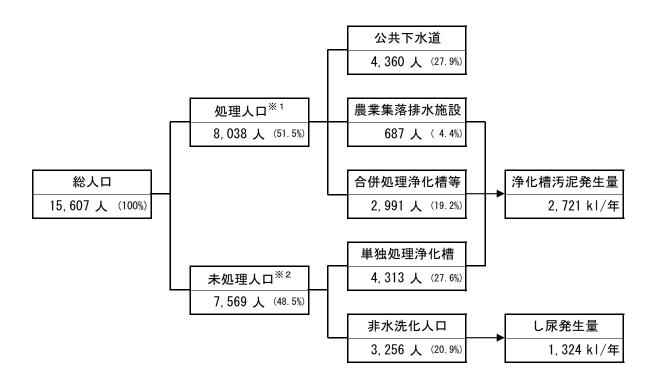


図2.1 一般廃棄物の処理状況フロー(平成27年度)

(2) 生活排水処理の現状

平成27年度の生活排水の処理及びし尿・汚泥等の排出量は図2.2のとおりである。 生活排水処理対象人口(平成27年10月1日)は、全体で15,607人であり、処理人口は 8,038人、汚水衛生処理率は51.5%である。

し尿発生量は1,324k1/年、浄化槽汚泥発生量は2,721k1/年であり、4,045k1/年を収集運搬、処理・処分している。



- ※1 処理人口は、公共下水道、農業集落排水施設、合併処理浄化槽等に接続している人口である。
- ※2 未処理人口は、単独処理浄化槽を利用している人口と非水洗化人口の合計である。

図2.2 生活排水の処理状況フロー(平成27年度)

(3) 一般廃棄物等の処理の目標

本計画期間中においては、廃棄物の減量化、資源化を含め循環型社会の実現を目指し、表 2.1 のとおり目標値について定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。また、図 2.3 に目標達成時の処理状況フローを示す。

表 2.1 減量化、再生利用に関する現状と目標

| | 指 | 標 | 現状(割合※ | 1) | 目標(割合 ^{※1} |) |
|-----------|-------------------|-------------------------|-------------|----------|---------------------|-----------|
| | 18 | <u>া</u> ক | (平成27年度 | 隻) | (平成35年度 |) |
| | 事業系 | 総排出量 | 2,960 トン | | 2, 457 トン | (-17.0%) |
| | | 1事業所当たりの排出量**2 | 1.97 トン/事業所 | ŕ | 1.82 トン/事業所 | (-7.6%) |
| 排出: | 量家庭系 | 総排出量 | 2,686 トン | | 2,318 トン | (-13. 7%) |
| | | 1人当たりの排出量 ^{※3} | 142 kg/人 | | 138 kg/人 | (-2.8%) |
| | 合 計 | 事業系家庭系排出量合計 | 5,646 トン | | 4, 775 トン | (-15. 4%) |
| 再生利用: | 直接資 | 源化量 | 104 トン | (1.8%) | 105 トン | (2. 2%) |
| 丹 工 利 用 . | 総資源 | 化量 | 1,295 トン | (22. 9%) | 1,066 トン | (22. 3%) |
| 熱回収: | 量熱回収 | 量(年間の発電電力量) | — MWh | | — MWh | _ |
| 減量化 | 量 化 量 中間処理による減量化量 | | 3,278 トン | (58. 1%) | 2,984 トン | (62. 5%) |
| 最終処分: | 量埋立最 | 終処分量 | 1,073 トン | (19.0%) | 725 トン | (15. 2%) |

- ※1 排出量は現状に対する割合、その他は排出量に対する割合
- ※2 (1事業所あたりの排出量)={(事業系ごみの総排出量)-(事業系ごみの資源ごみ量)}/(事業所数)
- ※3 (1人あたりの排出量)={(家庭系ごみの総排出量)-(家庭系ごみの資源ごみ量)}/(人口)

《指標の定義》

排 出 量:事業系ごみ、家庭系ごみを問わず、出されたごみの量(集団回収量を除く。) [単位:トン]

再生利用量:集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和〔単位:トン〕

熱 回 収 量: 熱回収施設において発電された年間の発電電力量 [単位: MWh]

減 量 化 量: 中間処理量と処理後の残さの量の差 [単位:トン]

最終処分量: 埋立処分された量〔単位:トン〕

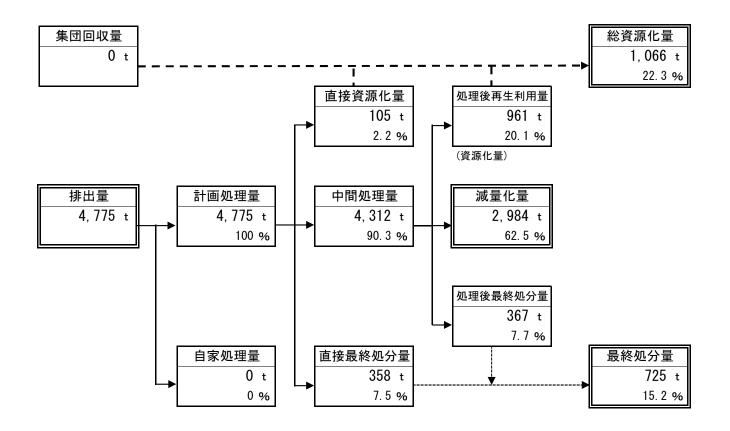


図2.3 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー (平成35年度)

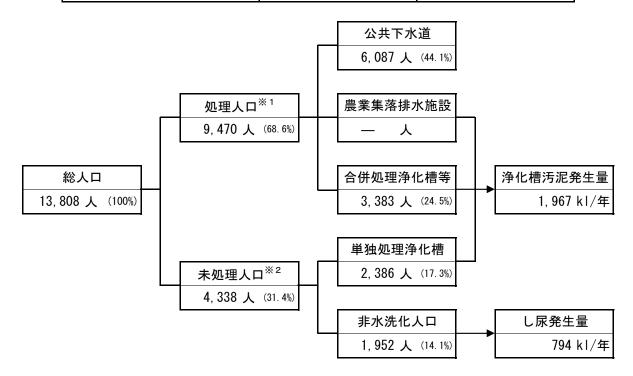
(4) 生活排水処理の目標

生活排水処理については、表 2.2 に掲げる目標のとおり、公共下水道の接続人口を増やすほか、合併処理浄化槽の整備を進めていくものとする。

また、図2.4に目標達成時の処理状況フローを示す。

| | | 平成27年度実績 | 平成35年度目標 | |
|-----------------|----------|-------------------|-------------------------|--|
| hn | 公共下水道 | 4, 360 人 (27. 9%) | 6,087 人 (44.1%) | |
| 処 理 形 | 農業集落排水施設 | 687 人 (4.4%) | 平成28年度に公共 下水道(特環)へ移行 | |
| 態別 | 合併処理浄化槽等 | 2,991 人 (19.2%) | 3,383 人 (24.5%) | |
| 人口 | 未処理人口 | 7, 569 人 (48.5%) | 4, 338 人 (31. 4%) | |
| | 合 計 | 15, 607 人 | 13,808 人 | |
| し 尿 | 汲み取りし尿量 | 1, 324 キロリットル | 794 キロリットル | |
| · 污 泥 | 浄化槽汚泥量 | 2, 721 キロリットル | 1, 967 キロリットル | |
| の量 | 合 計 | 4, 045 キロリットル | 2, 761 キロリットル | |

表 2.2 生活排水処理に関する現状と目標



- ※1 処理人口は、公共下水道、農業集落排水施設、合併処理浄化槽等に接続している人口である。
- ※2 未処理人口は、単独処理浄化槽を利用している人口と非水洗化人口の合計である。

図2.4 目標達成時の生活排水の処理状況フロー(平成35年度)

3. 施策の内容

(1) 発生抑制、再使用の推進

ア 環境教育 【施策NO. 11】

ポスター、チラシ等の配布や広報紙、ホームページ等による幅広い広報活動により、 循環型社会形成に対する意識の向上を図っていく。

また、小学生等を対象とした社会科見学等を行うことにより地域に根差した環境教育を行う。

イ 有料化 【施策NO. 12】

資源ごみを除く収集ごみは、市指定袋及びシールによりごみ処理手数料を徴収している。また、埋立処分場や奥能登クリーンセンターへ直接持ち込む場合にも、ごみ処理手数料を徴収している。なお、家庭系ごみと事業系ごみで料金に差を設けており、今後も一般廃棄物の排出抑制や再使用の推進及び排出量に応じた負担の公平化のため、適正なごみ処理手数料の徴収を継続する。

ウ 容器包装の排出抑制 【施策NO. 13】

住民、事業者の協働施策としてマイバック運動を推進していく。

エ 事業系一般廃棄物の発生抑制 【施策NO. 14】

事業系一般廃棄物は、家庭系ごみの分別区分に準じて収集しており、各事業所において循環型社会形成の基本方針である3Rへの取り組みを促すとともに、必要な情報提供を行う。

オ 小型家電の資源化 【施策NO. 15】

小型家電は現在、不燃ごみ、粗大ごみと併せて収集あるいは直接持込ごみとして受け 入れた後、奥能登クリーンセンターで選別回収し、認定事業者に引渡し資源化している。 今後もこれを継続しつつ、さらなる資源化のため広報等による周知を図る。

カ 生ごみの資源化 【施策NO. 16】

生ごみ処理機の補助制度を継続し、堆肥化などの再生利用を啓発する。

また、珠洲市浄化センターのバイオマスメタン発酵施設において事業所から発生する 生ごみのメタン発酵、肥料化を行い、製造した肥料を地域の農業で有効利用しており、 今後もこれを継続する。

キ 剪定枝等の資源化 【施策NO. 17】

剪定枝等の有機系ごみは、民間資源化業者による資源化処理を推奨している。今後はこれを継続するほか、チップ等の利用拡大について検討する。

ク 民間事業者による資源物回収 【施策NO. 18】

本市では、民間事業者によるダンボールなどの紙類、空き缶等の回収が行われており、今後も民間事業者とともに資源物の回収を継続する。

(2) 処理体制

ア 家庭系ごみの処理体制の現状と今後 【施策NO. 21】

家庭系ごみの分別区分及び処理方法の現状と今後については、表 3.1 (P.13) のとおりである。

- ・燃やすごみ、布製品・ひも類は、現在奥能登クリーンセンターでごみ固形燃料化処理 を行っているが、平成35年度より焼却処理に移行する。それに伴い分別区分等の見直 しを図る。
- ・燃やさないごみ・粗大ごみは、奥能登クリーンセンターのリサイクルプラザで小型家 電をピックアップした後、破砕処理により鉄・アルミ・可燃物・その他の不燃物に選 別している。鉄・アルミは資源化、可燃物はごみ固形燃料化(平成35年度以降は焼却) 処理、処理残さは埋立処分しており、埋立量の削減と資源化率の向上のため今後もこ の処理体制を継続する。
- ・資源ごみである空き缶類、空きびん、ペットボトル、紙類は、市が収集を委託し、奥 能登クリーンセンターのリサイクルプラザに搬入後、資源化処理を行っており、今後 もこの処理体制を継続する。

また、民間事業者による資源物の回収も行われている。

・埋立ごみには、収集・持込される不燃ごみのほか、災害ごみや清掃ごみがある。これ らは、市の埋立処分場において埋立処分を行っている。

今後は、奥能登クリーンセンターの焼却施設整備に伴い、分別区分等の見直しを行う とともに、埋立前の選別により埋立処分の適正化を図る。

イ 事業系一般廃棄物の処理体制の現状と今後 【施策NO. 22】

事業系一般廃棄物は、今後とも家庭系ごみの分別区分に準じて委託業者が収集し、奥 能登クリーンセンターで家庭系ごみと併せて処理を行う。

また、木くず等は民間の資源化施設で資源化されているほか、珠洲市浄化センターのバイオマスメタン発酵施設で生ごみの資源化を行っている。今後もこれらの資源化を継続していく。

ウ 生活排水処理の現状と今後 【施策NO. 23】

本市は、下水道区域と合併処理浄化槽区域で構成されている。今後も市町村設置型合併浄化槽の整備を行い、衛生処理率100%を目指す。

また、し尿及び浄化槽等汚泥は、一般廃棄物収集運搬業の許可を有する事業者が収集 運搬し、珠洲市浄化センター内のバイオマスメタン発酵施設で処理を行っている。同施 設では、処理により発生するメタンガスを施設内の熱源として利用するほか、汚泥は肥 料化している。今後も計画的に施設の維持管理を行い施設の長寿命化を図りつつ、現状 の体制を継続する。

エ 今後の処理体制の要点

- ・ごみ固形燃料化処理から焼却処理への転換に伴い、分別区分等の見直しを行う。これ により、ごみ固形燃料化処理には不適な可燃物を焼却処理することで中間処理率の向 上や最終処分量の低減を図る。
- ・海岸漂着物や道路・河川等の清掃ごみ等の受入れを継続する。なお、清掃等の現地で の分別により適正な処理を行い、最終処分量を低減する。また、火災等で発生する災 害廃棄物についても発生現場での分別徹底を指導する。
- ・民間業者が運営している木くず、剪定枝等の資源化処理を推奨し、埋立処分量の低減 を図る。

表3.1 家庭系ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

| | 2次処理 | 最終処分 | | 【資源物】 資源化 【可燃残さ】 | 焼却 【不燃残さ】 最終処分 | 資源化 | 資源化 | 資源化 | 資源化 | | 資源化 | 資源化 | [可燃物]焼却 |
|---------|-----------------------|---------------------------------|------------|------------------------|------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|--|----------|------------------------------------|----------------------------------|------------------------------|
| 、後(H35) | 1次処理 処理施設 (処理量) | 奥能登クリーンセンター 焼却施設「新設】 | (2,911 t) | 奥能登クリーンセンター | リサイクルプラザ (147 t) | 奥能登クリーンセンター リサイクルプラザ (56+) | 奥能登クリーンセンター リサイクルプラザ (36t) | 奥能登クリーンセンター リサイクルプラザ (108 t) | 奥能登クリーンセンター・コーン・ニュー・ニュー・ニュー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・ニー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー | (391 t) | 奥能登クリーンセンター リサイクルプラザ (0.2 t) | 奥能登グリーンセンター リサイクルプラザ (10t) | 埋立処分場 【新設】 (358 t) |
| ∢ | 処理方法 | 焼却 熱回収 | | 資源化物の | 選別 | 資源化 | 資源化 | 資源化 | 資源化 | | 資源化 | 資源化 | 可燃物等の選別後埋立 |
| | 医分 | をご然に | | 粗大ごみ | 不然ごみ | 空き缶 | ペットボトル | 空きびん | 新聞紙 | 無 その他総 | ダンボール | 有害ごみ | 埋立ごみ |
| | | | | | | | | 河 浜 | カル | | | | |
| _ | | | | | | | | | | | | | |
| | 2次処理 | 【RDF】 炼却· 熟回収(発電) 【確答】 | 最終処分 | 【資源物】 資源化 【可燃残さ】 | ごみ 国形 燃料化 【不燃残さ】 最終 処分 | 資源化 | 資源化 | 資源化 | 資源化 | | 資源化 | 資源化 | I |
| 状(H27) | 1次処理 処理施設 (処理量) | 奥能登クリーンセンターごみ固形燃料化施設 | (3,379 t) | 奥能登クリーンセンター | リサイタルプラザ (177 t) | 奥能登クリーンセンター リサイクルプラザ (59t) | 奥能登クリーンセンター リサイクルプラザ (46 t) | 奥能登クリーンセンター リサイクルプラザ (133t) | 奥能登クリーンセンター | (428 t) | 奥能登クリーンセンター リサイクルプラザ (0.1 t) | 奥能登クリーンセンター リサイクルプラザ (10t) | 珠洲市一般廃棄物 埋立処分場 (884 t) |
| 現 | 処理方法 | ごみ固形 燃料化 | | 資源化物の | 選別 | 資源化 | 資源化 | 資源化 | 資源化 | | 資源化 | 資源化 | 立 |
| | 区分 | 可燃ごみ | 布製品・ひも類 | 粗大ごみ | 不然ごみ | 空き缶 | ペットボトル | 空きびん | 新聞紙 | 類 その他紙 | ダンボール | 有害ごみ | 埋立ごみ |
| | | | 佳 | | | | | 資源 | 3 11 | | | | |

表3.1補足 家庭系ごみの分別区分とその廃棄物の主な内容

| | | 現 | 見 状 (H27) | | | ф· | · 後 (H35) |
|---------------------------------------|---------|-------------------------|---|---|------------------|-------------------------|---|
| _ | 区分 | 収集頻度 収集場所 | 主なごみの例 | | 区分 | 収集場所 | 主なごみの例 |
| *** | 燃やすごみ | 週2回 ごみステーション | 台所ごみ(生ごみ)、豆腐のパック、歯ブラシ・コップ(ブラスキック製)、ラップ(金具、箱は別)、おもちゃ(ブラスチック製)、洗面器(ブラスチック製)、菓子袋、クレヨン、哺乳びん(ブラスチック製)、発泡スチロール・カップ麺等の容器、シャンブー・リンス等の容器など | | 秦 北 川 ビ | | 台所ごみ(生ごみ)、豆腐のパック、歯ブラシ・コップ(ブラスチック製)、ラップ(金具、箱は別)、おもちゃ(プラスチック製)、洗面器(プラスチック製)、菓子袋、クレヨ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
| 型 | 布製品・ひも類 | 月1回 ごみステーション | 衣類、スリッパ、布団・じゅうたん、かばん、ぬいぐるみ、帽子、ローブ・ひも類、カセットテープ・ビデオテープ、靴・長靴など | | K | ごみステーション | ン、哺れウススノンテング表、光にスプロープ・ブングを乗り合む、プィンプリンス等の容器、支援、スリッパ、布団・じゅうたん、かばん、ぬいぐるみ、帽子、ローブ・ひも類、カセットテーブ・ビデオテーブ、靴・長靴など |
| 靈 | 粗大ごみ | 電話申込 個人持込 | 机、いず、応接セット、オルガン、鎌台、下駄箱、サイドボード、食器棚、自転車、ステレオ、ソファー、タンス、テーブル、ペッド、本棚 | | 粗大ごみ | 電話申込個人持込 | 机、いず、応接セット・オルガン、鎌台、下駄箱・サイドボード、食器棚、自転車、ステレオ、ソファー、タンス・テーブル、ベッド、本棚 |
| 1 10 | 然やさないごみ | 月2回 ごみステーション | 金属でできている物、一部分「金属が使用されている物(台所・生活・事務用品など)、家庭用電化製品類(ポット、ストーブ、扇風機、掃除機、延長コードなど)、洗面器(金属製)、おもちゃ(金属を含むもの・木製) | | 然やさない 「よ | 月2回 ごみえテーション | 金属でできている物、一部分I-金属が使用されている物(台所・生活・事務用品など)、家庭用電化製品類(ポット、ストーブ、扇風機、掃除機、延長コードなど)、 活面器(金属製)、おもちゃ(金属を含むもの) |
| I | 空き缶 | 月2回 ごみステーション | スチール缶・アルミ缶 | 1 | 空き缶 | 月2回 ごみステーション | スチール缶・アルミ缶 |
| 1 | ペットボトル | 月2回 ごみステーション | ペットボトルマークがあるもののみ | | ペットボトル | 月2回 ごみステーション | ペットボトルマ <i>ーታ</i> があるもののみ |
| 1 | 空きびん | 月2回 ごみステーション | 無色透明・茶色・その他の色 | | 空きびん | 月2回 ごみステーション | 無色透明・茶色・その他の色 |
| 1 | 新聞紙 | 月2回 ごみステーション | 新聞紙 | | 源 新聞紙 | 月2回 ごみステーション | 新聞紙 |
| 菜 | 雑誌・その他紙 | 月2回 ごみステーション | 本、雑誌、チラシ、包装紙、菓子箱 | | 雑誌・その他紙 | 月2回 ごみステーション | 本、雑誌、チラシ、包装紙、菓子箱 |
| 1 | ダンボール | 月2回 ごみステーション | ダンボール | | ダンボール | 月2回 ごみステーション | ダンボール |
| 1 | 紙パック | 月2回 ごみステーション | 牛乳パック・飲料用紙パック | | 紙パック | 月2回 ごみステーション | 牛乳パック・飲料用紙パック |
| Ime | 有害ごみ | 月1回 ごみステーション | 乾電池、体温計、温度計、蛍光灯 | | 有害ごみ | 月1回 ごみステーション | 乾電池、体温計、温度計、蛍光灯 |
| i i i i i i i i i i i i i i i i i i i | 埋立ごみ | 月1回 ごみステーション 個人持込 | 哺乳びん(ガラス製)、陶磁器(茶碗、湯のみ、急須等)、ガラス製品、ガラスぐず、土鍋、植木鉢、花瓶・花器 | | 埋立ごみ | 月1回 ごみステーション 個人持込 | 哺乳びん(ガラス製)、陶磁器(茶碗、湯のみ、急須等)、ガラス製品、ガラスくず、土鍋、 種木鉢、 花瓶・ 花器 |

(3) 処理施設の整備

ア 廃棄物処理施設の整備

上記(2)に示した処理体制で処理を行うため、表3.2のとおり必要な施設整備を行う。

表3.2 整備する処理施設

| 事業番号 | 整備施設種類 | 事業名 | 処理能力 | 設置予定地 | 事業期間 |
|------|--------|-----------|----------------------|---------------|------------------------|
| 1 | 最終処分場 | 最終処分場整備事業 | 20,000m ³ | 珠洲市宝立町 春日野 | 一次:H32~H33 二次: ~H34 |

[※] 現有処理施設の概要を添付(添付3)

(整備理由)

事業番号1 現最終処分場の残余容量の減少

イ 合併浄化槽の整備

合併処理浄化槽の整備については、表3.3のとおり行う。

表3.3 合併処理浄化槽への移行計画

| 事業 番号 | 事業 | 直近の整備済 基数(基) (平成27年度) | 整備計画 基 数 (基) | 整備計画 人 口 (人) | 事業期間 |
|----------|--------------|-----------------------------|--------------------|--------------------|---------|
| 2 | 浄化槽市町村整備推進事業 | 40 | 300 | 889 | H27~H33 |

[※] 一次計画のみ記載

(4) 施設整備に関する計画支援事業

(3)の施設整備に先立ち、表3.4のとおり計画支援事業を行う。

表3.4 実施する計画支援事業

| 事業番号 | 事業名 | 事業内容 | 事業期間 |
|------|----------------------------------|----------|---------|
| | 最終処分場の整備(事業番号1)に係る測量業務 | 測量 | |
| | 最終処分場の整備(事業番号1)に係る地質調査業務 | 地質調査 | |
| 31 | 最終処分場の整備(事業番号1)に係る基本設計業務 | 基本設計 | H29~H31 |
| | 最終処分場の整備(事業番号1)に係る 生活環境影響調査業務 | 生活環境影響調査 | |
| | 最終処分場の整備(事業番号1)に係る実施設計業務 | 実施設計 | |

(5) その他の施策

地域の循環型社会の形成を推進するために次の施策を実施する。

ア 不法投棄対策 【施策NO. 41】

地域の町内会などと一体となった普及啓発により分別区分の徹底を進めるとともに、 パトロールの強化などを行い、不法投棄防止を図る。

イ 災害廃棄物処理体制の整備 【施策NO. 42】

地震などの災害時に発生したごみ・し尿・がれきなどを迅速かつ適正に処理することで住民の生活環境を確保し、速やかな復興を推進するため、災害廃棄物処理計画の 策定を検討する。

4. 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて 石川県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後に処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定等に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

循環型社会形成推進地域計画の添付書類一覧

◎ 循環型社会形成推進地域計画

添付1 目標の設定に関する説明資料 (ごみ処理関係)

添付2 将来予測に関する資料 (現状と目標のトレンドグラフ等)

添付3 現有処理施設の概要

■○ 様式1 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表1 (平成28年度)

様式1添付1 指標と人口等の要因に関するトレンドグラフ

様式1添付2 地域内の施設の現況と予定(位置図)

様式1添付3 汚水衛生処理人口のトレンドグラフ

様式1添付4 地域内の施設の現況と予定(市町村整備浄化槽区域図)

■○ 様式2 循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2 (平成28年度) (地域内の計画事業を年度ごとにまとめたもの)

■○ 様式3 地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

◇ その他参考資料

| 使用する様式 | 対象とする施設整備、事業 |
|-------------------------|---------------------------------|
| 参考資料様式3 施設概要(最終処分場系) | 最終処分場整備 20,000m ³ |
| 参考資料様式 5 施設概要(浄化槽系) | 浄化槽市町村整備推進事業 |
| 参考資料様式 6 計画支援概要 | 最終処分場整備に関する計画支援事業 |

目標の設定に関する説明資料 (ごみ処理関係)

(1) 目標指標の設定

本計画の減量化、再生利用に関する目標指標は、循環型社会形成推進地域計画作成 マニュアルに基づき下表のとおり設定した。

目標指標

| | 指標 | 備考 |
|-----------|-----------------|--------------------------------------|
| | 事業系 総排出量 | |
| | 1事業所当たりの排出量 | ={(事業系ごみの総排出量)-(事業系ごみの資源ごみ量)}/(事業所数) |
| 排 出 量 | 家庭系 総排出量 | |
| | 1人当たりの排出量 | ={(家庭系ごみの総排出量)-(家庭系ごみの資源ごみ量)}/(人口) |
| | 合 計 事業系家庭系排出量合計 | |
| 再生利用量 | 直接資源化量 | |
| 7 工 利 用 重 | 総資源化量 | |
| 熱 回 収 量 | 熱回収量(年間の発電電力量) | 発電は行わないため、該当しない。 |
| 減量化量 | 中間処理による減量化量 | |
| 最終処分量 | 埋立最終処分量 | |

(2) 目標値の設定方針

目標値は、基本方針^{*1}、循環型社会形成推進基本計画^{*2}における数値目標を踏まえた上で地域の特性や全国の水準^{*3}を考慮して設定した。実績値及び将来予測値^{*4}とこれらの数値目標を比較した結果^{*5}、地域の特性上目標達成が困難なもの、全国平均に比べ高い水準にあるものを除き、概ね数値目標の達成が見込まれる。

なお、本市は能登半島の先端に位置するため海岸漂着物が多く、この海岸清掃ごみを一般廃棄物として処理している。海岸清掃ごみは付着する塩分により資源化や焼却処理が困難なため、直接最終処分としている。また、火災等の災害ごみも一般廃棄物として処理している。本市では、人口減少・過疎化が進行しており、全体の排出量に対するこれらのごみの割合が大きいほか、これらのごみは、人口減少に関わらず今後も一定量存在するものと考えられる。そのため、これらのごみの削減(これらのごみを含む指標の目標達成)は困難であると考えられる。

以上のことから、地域の特性を踏まえれば、本市では、これまでの取組により、相当程度の発生抑制、資源化が進んでいると考えられる。そのため、本計画では、これまでの取組を継続するとともに新たな施策への取組を検討し、現状を維持していく方針とし、目標指標に対して現状維持程度となる目標値を設定した。

- ※1 廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針
- ※2 第3次循環型社会形成推進基本計画
- ※3 一般廃棄物処理実態調査結果による全国の数値
- ※4 「添付2 将来予測に関する資料(現状と目標のトレンドグラフ等)」参照
- ※5 「(3)基本方針、循環型社会形成推進基本計画における目標値との対比」参照

(3) 基本方針、循環型社会形成推進基本計画における目標値との対比

①基本方針における目標、②循環型社会形成推進基本計画における目標を下表に示す。

①基本方針における目標

| 指標 | 平成32年度目標 |
|----------------------|--------------------------|
| 一般廃棄物 排出量 | 平成24年度比約12%削減 |
| 一般廃棄物 再生利用率 | 平成24年度の約21%から 約27%に増加 |
| 一般廃棄物 最終処分量 | 平成24年度比約14%減 |
| 1人1日当たりの 家庭系ごみ排出量 | 500g/人・目とする |

②循環型社会形成推進基本計画における目標

| 指標 | 平成32年度目標 (全国の数値目標) | 備考 |
|----------------------|-------------------------------|------------------------------|
| 1人1日当たりの 排出量 | 平成12年度比で約25%減 (約890g/人・日) | 計画収集量、 直接搬入量、 集団回収量を含む |
| 1人1日当たりの 家庭系ごみ排出量 | 平成12年度比で約25%減 (約500g/人・日) | 集団回収量、 資源ごみ等を除く |
| 事業系ごみ排出量 | 平成12年度比で約35%減 (約1,170万t/年) | 事業系ごみ量の総量 |

①基本方針、②循環型社会形成推進基本計画における目標値及び予測値の対比結果を 下表に示す。

本市では、地域の特性や既に相当程度の発生抑制、資源化が進んでいる状況を考慮し、これらの指標を除けば、概ね目標達成が見込まれる。

目標値と実績値及び予測値の対比

| | ②基準年度 | ①基準年度 | (| ①②目標年度 | | 評価 |
|---|--------|--------|--------|---|----------------|-------------------------------|
| 指 標 | 平成12年度 | 平成24年度 | | 平成32年度 目標達成状況及び達成 票値 予測値 設定目標値 4,760 4,950 4,935 既に相当程度の抑制が込 約27 23 25 概ね達成の見込 677 790 781 地域の特性上、目標達 500 459 458 実績にて目標が | 日標法式供知及が法式の目はす | |
| | 実績値 | 実績値 | 目標値 | 予測値 | 設定目標値 | 日保廷成仏优及い廷成の兄込み |
| 一般廃棄物 排出量 (t /年) | _ | 5, 409 | 4, 760 | 4, 950 | 4, 935 | 既に相当程度の抑制が進んでいる ^{※2} |
| 一般廃棄物 再生利用率 (%) | | 23 | 約27 | 23 | 25 | 概ね達成の見込み ^{※3} |
| 一般廃棄物 最終処分量 (t /年) | ı | 787 | 677 | 790 | 781 | 地域の特性上、目標達成は困難 ^{※4} |
| 1人1日当たりの 家庭系ごみ排出量 (g/人・日) | | 471 | 500 | 459 | 458 | 実績にて目標達成 |
| 1人1日当たりの ごみ排出量 (g/人・日) | 1, 088 | | 816 | 940 | 937 | 地域の特性上、目標達成は困難 ^{※5} |
| 資源ごみを除く1人1日当 たりのごみ排出量 ^{*1} (g/人・日) | 1,012 | _ | 759 | 742 | 722 | 目標達成の見込み |

- ※1 本市の特性を踏まえ、比較のため「資源ごみを除く1人1日当たりのごみ排出量」を指標として設定した。
- ※2 平成24年度の「1人1日当たりの家庭系ごみ排出量」は、珠洲市の471g/人・日に対し、全国の水準は685g/人・日(一般廃棄物処理実態調査より)である。よって相当程度の排出抑制が進んでおり、目標達成は困難と見込まれる。
- ※3 目標達成は困難と見込まれるが、概ね達成となる目標値を設定した。なお、平成24年度の「一般廃棄物再生利用率」は、 珠洲市の23%に対し、全国の水準は20%(一般廃棄物処理実態調査より)であり、本市の資源化状況は高い水準にある。
- ※4 本市で一般廃棄物として処理している海岸清掃ごみは、付着している砂や塩分により資源化や焼却処理が難しく、直接 最終処分となる。海岸清掃ごみは、今後も一定量発生すると考えられるため、目標達成は困難と見込まれる。
- ※5 本市では、災害ごみ、海岸清掃ごみを一般廃棄物として処理しているほか、生ごみ・木くず等の資源化や民間事業者による資源物の回収が行われている。これらのごみは、人口減少が進行する一方で今後も一定量発生すると考えられるため、本指標の達成は困難と見込まれる。ただし、資源ごみを除けば、目標達成が見込まれる(「資源ごみを除く1人1日当たりのごみ排出量」参照)。

(4) 目標値の設定

標とする。

上記の設定方針に基づき設定した目標値を下表に示す(表 2.1 (P.6) 再掲)。 「排出量」は、「1事業所当たりの排出量」で7.6%削減、「1人当たりの排出量」 で2.8%削減を目標とする。また、「事業系家庭系排出量合計」で15.4%の削減を目

「再生利用量」は、「直接資源化量」が1.8%から2.2%へ0.4ポイント増加を目標とする。「総資源化量」は22.9%から22.3%へ0.6ポイント減少としているが、これは、処理方式の変更によりRDF焼却後の溶解スラグの資源化がなくなることが要因である。

「減量化量」は、58.1%から62.5%と4.4ポイント増加を目標とする。 「最終処分量」は、19.0%から15.2%と3.8ポイント削減を目標とする。

減量化、再生利用に関する現状と目標

| | 指 | 標 | 現状(割合 ^{※1} |) | 目標(割合 ^{※1} |) | |
|------|------|---------------------------|---------------------|----------|---------------------|-----------|--|
| | TE | l 1क | (平成27年度 |) | (平成35年度) | | |
| | 事業 | 系 総排出量 | 2,960 トン | | 2,457 トン | (-17.0%) | |
| | | 1事業所当たりの排出量 ^{※2} | 1.97 トン/事業所 | | 1.82 トン/事業所 | (-7.6%) | |
| 排出 | 量家庭 | 系 総排出量 | 2,686 トン | | 2,318 トン | (-13. 7%) | |
| | | 1人当たりの排出量 ^{※3} | 142 kg/人 | | 138 kg/人 | (-2.8%) | |
| | 合 | 計事業系家庭系排出量合計 | 5,646 トン | | 4,775 トン | (-15. 4%) | |
| 五步到田 | 直接 | 資源化量 | 104 トン | (1.8%) | 105 トン | (2. 2%) | |
| 再生利用 | | 源化量 | 1, 295 トン | (22. 9%) | 1,066 トン | (22. 3%) | |
| 熱回収 | 量 熱回 | 収量(年間の発電電力量) | — MWh | | — MWh | | |
| 減量化 | 量中間 | 処理による減量化量 | 3, 278 トン | (58. 1%) | 2,984 トン | (62.5%) | |
| 最終処分 | 量 埋立 | 最終処分量 | 1,073 トン | (19.0%) | 725 トン | (15. 2%) | |

^{※1} 排出量は現状に対する割合、その他は排出量に対する割合

^{※2 (1}事業所あたりの排出量)={(事業系ごみの総排出量)-(事業系ごみの資源ごみ量)}/(事業所数)

^{%3} (1人あたりの排出量) = $\{(家庭系ごみの総排出量) - (家庭系ごみの資源ごみ量)\}/(人口)$

将来予測に関する資料(現状と目標のトレンドグラフ等)

(1) 将来予測

人口、事業所、ごみ排出量原単位について、実績を基に将来予測を行った。

人口については、珠洲市人口ビジョン^{※1}により将来目標値を定めていることから、 この値を本計画の実績値に合わせて補正^{※2}したものを用いることとした。

事業所は、平成18、21、24年度の統計調査結果^{※3}を基にトレンド法により推計を 行った。

ごみ排出量原単位は、平成23~27年度の実績値を基にトレンド法により推計を行った。ただし、災害ごみや清掃ごみ、木くず等の資源化ごみ等は、実績値の平均値を予測値として設定した。

なお、トレンド法は、直線式、逆数式、対数式、べき乗式、指数式、ロジスティック式の6つの予測式による結果の中から決定係数の高いものを予測値として採用している。

- ※1 珠洲市人口ビジョン (平成28年2月)
- ※2 人口ビジョンは、国勢調査を基にしているため、本計画に用いている住民基本台帳人口 (10月1日) との差を補正した。また、5年毎の実績・目標値となるため、その間の年度は一定で推移するものとして設定した。
- ※3 平成18年度は、事業所・企業統計調査結果、平成21、24年度は、経済センサス基礎調査結果

(2) 将来目標

目標は、設定方針※に基づき、現状維持程度となるよう設定した。

将来予測値がごみの減量化、再生利用の増進となるものは、予測値を目標値として設定した。一方で、将来予測値が現状維持に満たないものは、実績値の平均値を目標として設定した。資源ごみは、平成27年度実績値を目標値とした。

※ 「添付1 目標の設定に関する説明資料」参照

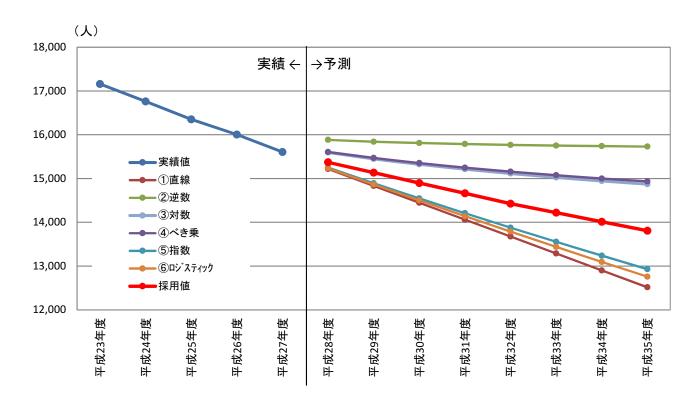
(3) 現状と目標のトレンドグラフ等

実績値、将来予測および目標値を示したグラフを示す。

珠洲市 トレンド推計(人口)※参考

(人) 推計値 採用値 実績値 ①直線 ⑥ロシ゛スティック ②逆数 ③対数 ④べき乗 ⑤指数 17, 160 平成23年度 平成24年度 16, 763 平成25年度 16, 354 平成26年度 16,007 平成27年度 15,607 平成28年度 15, 220 15,883 15, 595 15,607 15, 251 15, 236 15, 371 平成29年度 14,833 15,842 15, 451 15, 471 14,895 14,866 15, 135 平成30年度 14, 447 15,812 15, 326 15, 353 14, 548 14,501 14,898 平成31年度 14,061 15, 788 15, 215 15, 250 14, 209 14, 142 14,662 平成32年度 13,675 15, 769 15, 159 13,878 13, 788 14, 426 15, 116 平成33年度 13, 289 15, 753 15,027 15,076 13, 554 13, 439 14, 220 平成34年度 12,902 15,740 14,945 15,002 13, 238 13,096 14,014 平成35年度 12,516 15,729 14,870 14, 933 12,930 12,758 13,808

| | 推 | 計式 | y = a x + b | y = a/x+b | $y=a\log(x)+b$ | $y = b x^a$ | $y = b a^x$ | $y=K/(1+be^{-ax})$ | |
|-----|----|------|-------------|-----------|----------------|-------------|-------------|--------------------|---------------|
| H | | a | -386. 20 | 1708. 51 | -938. 20 | -0.06 | 0. 98 | -0.04 | |
| 係数 | | b | 17536. 80 | 15597. 98 | 17276. 53 | 17289. 22 | 17569. 35 | 1. 76 | 珠洲市 人口ビジョ |
| 200 | ` | k | | | | | | 48486.06 | ンを基に別 |
| 汐 | 央分 | 官係数 | 0.999 | 0.823 | 0. 953 | 0. 947 | 1.000 | 1.000 | 紙のとおり 設定する |
| 修正 | E済 | 決定係数 | 0.999 | 0.764 | 0. 937 | 0. 929 | 0. 999 | 0. 999 | 政化りつ |
| | 判 | 定※ | 0 | 0 | 0 | © | 0 | 0 | |

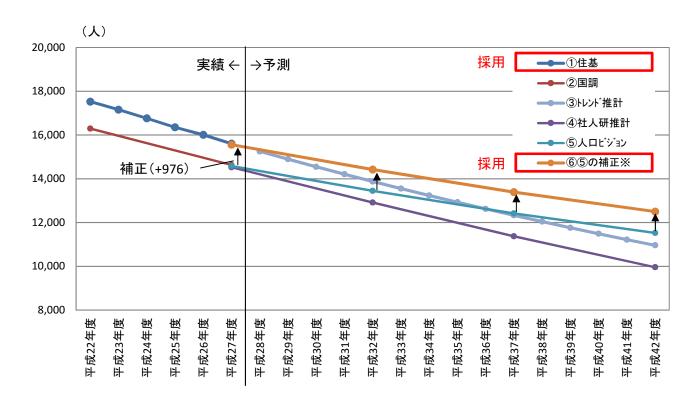


珠洲市 人口予測値(目標値)の設定

(人)

| | | 実績値 | | | 子 测估 | 目標値 | T | (人) |
|--------|---------|---------|--------|------------|----------------|-----------------------|-------------------|---------|
| = | ①住基 | ②国調 | 差(①-②) | (3)トレント・推計 | | る ⑤人口ビジョン | 66の補正※ | 採用値 |
| 平成22年度 | 17, 524 | 16, 295 | 1, 229 | O1.11 1mm1 | () (L) (1) (L) | 0,4,115 (41 | (0)(0) v / 1 m m. | 17, 524 |
| 平成23年度 | 17, 160 | | | | | | | 17, 160 |
| 平成24年度 | 16, 763 | | | | | | | 16, 763 |
| 平成25年度 | 16, 354 | | | | | | | 16, 354 |
| 平成26年度 | 16, 007 | | | | | | | 16, 007 |
| 平成27年度 | 15, 607 | 14, 631 | 976 | | 14, 529 | 14, 584 | 15, 560 | 15, 607 |
| 平成28年度 | | | | 15, 251 | | | | 15, 371 |
| 平成29年度 | | | | 14, 895 | | | | 15, 135 |
| 平成30年度 | | | | 14, 548 | | | | 14, 898 |
| 平成31年度 | | | | 14, 209 | | | | 14, 662 |
| 平成32年度 | | | | 13, 878 | 12, 915 | 13, 450 | 14, 426 | 14, 426 |
| 平成33年度 | | | | 13, 554 | | | | 14, 220 |
| 平成34年度 | | | | 13, 238 | | | | 14, 014 |
| 平成35年度 | | | | 12, 930 | | | | 13, 808 |
| 平成36年度 | | | | 12, 628 | | | | 13, 602 |
| 平成37年度 | | | | 12, 334 | 11, 378 | 12, 420 | 13, 396 | 13, 396 |
| 平成38年度 | | | | 12, 046 | | | | 13, 218 |
| 平成39年度 | | | | 11, 766 | | | | 13, 039 |
| 平成40年度 | | | | 11, 491 | | | | 12, 861 |
| 平成41年度 | | | | 11, 223 | | | | 12, 682 |
| 平成42年度 | | | | 10, 962 | 9, 960 | 11, 528 | 12, 504 | 12, 504 |

※⑤の補正=⑤+976 (平成27年度の①と②の差)



珠洲市 トレンド推計(事業所)

(ヶ所)

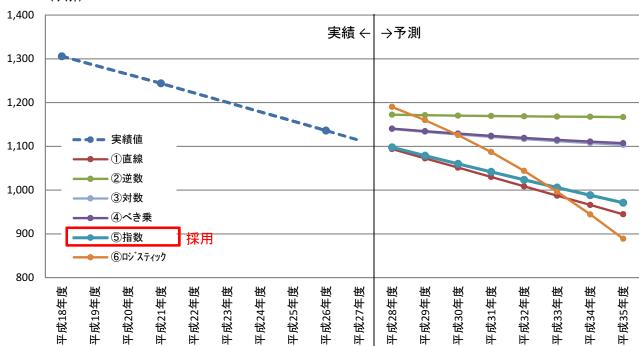
| | | | | | | | | (ケ肝) |
|--------|-----------------|--------|--------|--------|--------|-------|-----------|--------|
| | 実績値 | | | 予测 | 則値 | | | 採用値 |
| | 大順胆 | ①直線 | ②逆数 | ③対数 | ④べき乗 | ⑤指数 | ⑥ロシ゛スティック | 休用恒 |
| 平成18年度 | 1, 306 | | | | | | | |
| 平成19年度 | ※ 1, 285 | | | | | | | |
| 平成20年度 | ※ 1, 265 | | | | | | | |
| 平成21年度 | 1, 244 | | | | | | | |
| 平成22年度 | ※ 1, 222 | | | | | | | |
| 平成23年度 | ※ 1, 201 | | | | | | | |
| 平成24年度 | ※ 1, 179 | | | | | | | |
| 平成25年度 | ※ 1, 158 | | | | | | | |
| 平成26年度 | 1, 136 | | | | | | | |
| 平成27年度 | ※ 1, 114 | | | | | | | |
| 平成28年度 | | 1, 094 | 1, 172 | 1, 140 | 1, 141 | 1,098 | 1, 190 | 1, 098 |
| 平成29年度 | | 1,073 | 1, 171 | 1, 133 | 1, 135 | 1,079 | 1, 160 | 1,079 |
| 平成30年度 | | 1,051 | 1, 170 | 1, 127 | 1, 129 | 1,060 | 1, 126 | 1,060 |
| 平成31年度 | | 1,030 | 1, 169 | 1, 122 | 1, 124 | 1,042 | 1, 087 | 1, 042 |
| 平成32年度 | | 1,009 | 1, 169 | 1, 117 | 1, 119 | 1,024 | 1,044 | 1,024 |
| 平成33年度 | | 987 | 1, 168 | 1, 112 | 1, 115 | 1,006 | 997 | 1,006 |
| 平成34年度 | | 966 | 1, 167 | 1, 108 | 1, 111 | 988 | 945 | 988 |
| 平成35年度 | | 945 | 1, 167 | 1, 103 | 1, 107 | 971 | 889 | 971 |

※事業所数は平成18、21、26年度実績値より推計。平成19~20、22~25、27年度は推計値

| 推 | 注計式 | y = a x + b | y = a/x+b | y=alog(x)+b | $y = b x^a$ | $y = b a^x$ | $y=K/(1+be^{-ax})$ | | | | |
|-----|-------|-------------|-----------|-------------|-------------|-------------|--------------------|--------------|--|--|--|
| K | а | -21. 29 | 154. 97 | -73. 85 | -0.06 | 0.98 | -0. 19 | | | | |
| 係数 | b | 1328. 00 | 1158. 35 | 1316.89 | 1318. 42 | 1331. 05 | 0.04 | ♠±±±, ≠ | | | |
| 200 | k | | | | _ | | 1363.00 | ⑤指数を 採用する | | | |
| 決 | 定係数 | 1. 000 | 0.742 | 0. 910 | 0.899 | 0. 999 | 0.974 | 1/K/11 7 3 | | | |
| 修正法 | 済決定係数 | 1. 000 | 0.484 | 0.820 | 0.799 | 0. 998 | 0. 948 | | | | |
| 半 | 引定※ | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | |

※判定基準は、◎:修正済決定係数≥0.7、○:0.7>修正済決定係数≥0.5とした。

(ヶ所)



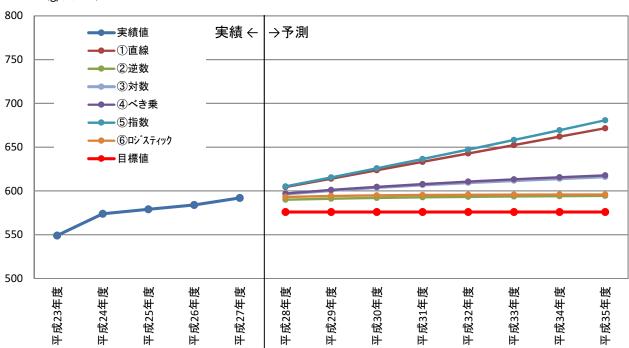
珠洲市 トレンド推計(可燃ごみ+布製品・ひも類)

(g/人·目)

| | | | | | | | | (8/ /\ 11 / |
|--------|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----------|-------------|
| | 実績値 | | | 予涉 | 則値 | | | 目標値 |
| | 大順胆 | ①直線 | ②逆数 | ③対数 | ④べき乗 | ⑤指数 | ⑥ロシ゛スティック | 口际胆 |
| 平成23年度 | 549 | | | | | | | |
| 平成24年度 | 574 | | | | | | | |
| 平成25年度 | 579 | | | | | | | |
| 平成26年度 | 584 | | | | | | | |
| 平成27年度 | 592 | | | | | | | |
| 平成28年度 | | 604 | 590 | 597 | 597 | 605 | 593 | 576 |
| 平成29年度 | | 614 | 591 | 600 | 601 | 615 | 594 | 576 |
| 平成30年度 | | 624 | 592 | 604 | 605 | 626 | 595 | 576 |
| 平成31年度 | | 633 | 593 | 607 | 608 | 636 | 595 | 576 |
| 平成32年度 | | 643 | 593 | 609 | 611 | 647 | 596 | 576 |
| 平成33年度 | | 652 | 594 | 612 | 613 | 658 | 596 | 576 |
| 平成34年度 | | 662 | 594 | 614 | 616 | 669 | 596 | 576 |
| 平成35年度 | | 672 | 594 | 616 | 618 | 681 | 596 | 576 |

| | 推 | 計式 | y = a x + b | y = a/x+b | y=alog(x)+b | $y = b x^a$ | $y = b a^x$ | y=K/(1+be ^{-ax}) | |
|--------|----|-------|-------------|-----------|-------------|-------------|-------------|----------------------------|------------|
| 1-7 | | а | 9. 60 | -49. 63 | 25. 17 | 0.04 | 1. 02 | 0. 58 | |
| 仔 数 | | b | 546. 80 | 598. 26 | 551. 50 | 551. 57 | 547. 12 | 0. 15 | 過去5年間 |
| 27 | ^ | k | | | | | | 595. 89 | 実績の平均値を目標と |
| 污 | 央に | 定係数 | 0.868 | 0. 977 | 0. 965 | 0. 962 | 0.861 | 0. 940 | する |
| 修工 | 正淳 | 許決定係数 | 0.825 | 0. 969 | 0. 953 | 0. 950 | 0.815 | 0. 920 | |
| | 判 | 定※ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |

(g/人·日)

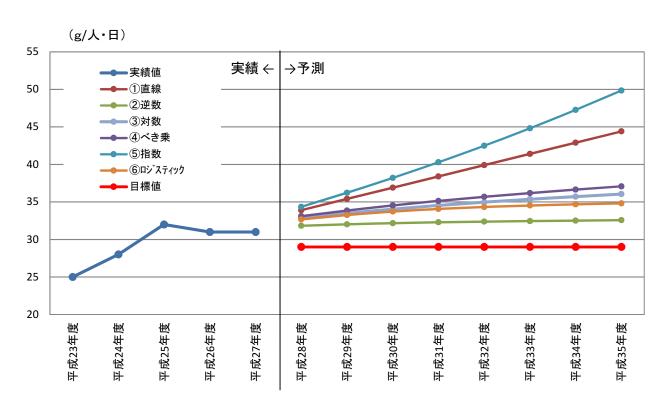


珠洲市 トレンド推計(粗大ごみ+不燃ごみ)

(g/人·目)

| | | | | | | | | (8/ / 1) |
|--------|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----------|----------|
| | 実績値 | | | 予涉 | 則値 | | | 目標値 |
| | 大順胆 | ①直線 | ②逆数 | ③対数 | ④べき乗 | ⑤指数 | ⑥ロシ゛スティック | 口保胆 |
| 平成23年度 | 25 | | | | | | | |
| 平成24年度 | 28 | | | | | | | |
| 平成25年度 | 32 | | | | | | | |
| 平成26年度 | 31 | | | | | | | |
| 平成27年度 | 31 | | | | | | | |
| 平成28年度 | | 34 | 32 | 33 | 33 | 34 | 33 | 29 |
| 平成29年度 | | 35 | 32 | 33 | 34 | 36 | 33 | 29 |
| 平成30年度 | | 37 | 32 | 34 | 35 | 38 | 34 | 29 |
| 平成31年度 | | 38 | 32 | 35 | 35 | 40 | 34 | 29 |
| 平成32年度 | | 40 | 32 | 35 | 36 | 42 | 34 | 29 |
| 平成33年度 | | 41 | 32 | 35 | 36 | 45 | 35 | 29 |
| 平成34年度 | | 43 | 33 | 36 | 37 | 47 | 35 | 29 |
| 平成35年度 | | 44 | 33 | 36 | 37 | 50 | 35 | 29 |

| 推 | 自計式 | y = a x + b | y = a/x+b | y=alog(x)+b | $y = b x^a$ | $y = b a^x$ | $y=K/(1+be^{-ax})$ | |
|-----|--------------|-------------|-----------|-------------|-------------|-------------|--------------------|------------|
| IT. | а | 1. 50 | -8. 35 | 4. 13 | 0. 15 | 1. 05 | 0. 29 | |
| 係数 | b | 24. 90 | 33. 21 | 25. 44 | 25. 44 | 24. 96 | 0.42 | 過去5年間 |
| | k | | | | | | 35. 16 | 実績の平均値を目標と |
| 決 | 定係数 | 0.678 | 0.883 | 0.832 | 0.843 | 0.684 | 0.620 | する |
| 修正法 | 斉決定係数 | 0. 570 | 0.844 | 0. 776 | 0. 790 | 0. 579 | 0. 494 | |
| 半 | ∥定※ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |

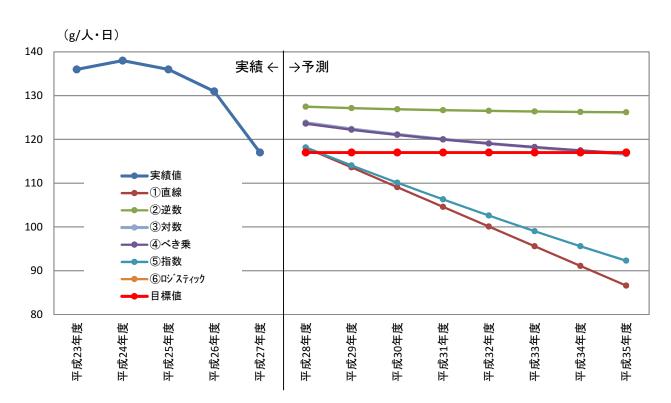


珠洲市 トレンド推計(資源ごみ)

(g/人·目)

| | | | | 予測 | 則値 | | | (8/ /\ H / |
|--------|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----------|------------|
| | 実績値 | ①直線 | ②逆数 | ③対数 | ④べき乗 | ⑤指数 | ⑥ロシ゛スティック | 目標値 |
| 平成23年度 | 136 | | | | | | | |
| 平成24年度 | 138 | | | | | | | |
| 平成25年度 | 136 | | | | | | | |
| 平成26年度 | 131 | | | | | | | |
| 平成27年度 | 117 | | | | | | | |
| 平成28年度 | | 118 | 127 | 124 | 124 | 118 | | 117 |
| 平成29年度 | | 114 | 127 | 122 | 122 | 114 | | 117 |
| 平成30年度 | | 109 | 127 | 121 | 121 | 110 | | 117 |
| 平成31年度 | | 105 | 127 | 120 | 120 | 106 | | 117 |
| 平成32年度 | | 100 | 127 | 119 | 119 | 103 | | 117 |
| 平成33年度 | | 96 | 126 | 118 | 118 | 99 | | 117 |
| 平成34年度 | | 91 | 126 | 117 | 117 | 96 | | 117 |
| 平成35年度 | | 87 | 126 | 117 | 117 | 92 | | 117 |

| 推 | 辪式 | y = a x + b | y = a/x+b | y=alog(x)+b | $y = b x^a$ | $y = b a^x$ | $y=K/(1+be^{-ax})$ | |
|-----|-------|-------------|-----------|-------------|-------------|-------------|--------------------|----------------|
| H | a | -4. 50 | 14. 25 | -9. 32 | -0.07 | 0. 97 | | |
| 係数 | b | 145. 10 | 125. 09 | 140. 53 | 140.88 | 146. 04 | | |
| | k | _ | _ | | | | | 現状維持を 目標とする |
| 決 | 定係数 | 0. 691 | 0. 291 | 0. 479 | 0.472 | 0. 683 | | 口がこりる |
| 修正法 | 斉決定係数 | 0. 588 | 0.055 | 0. 305 | 0. 297 | 0. 577 | | |
| 半 | 川定※ | 0 | | | | 0 | | |



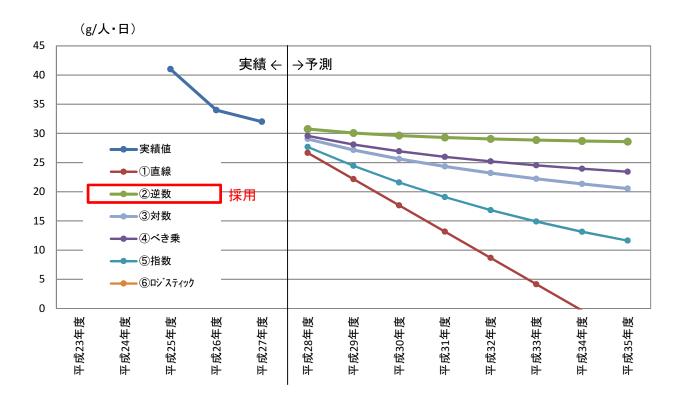
珠洲市 トレンド推計(埋立ごみ(災害、清掃ごみ除く))

(g/人·目)

| | | | | | | | | (8/ / 1) |
|--------|-------------|-----|-----|-----|------|-----|-----------|----------|
| | 実績値 | | | 予涉 | 則値 | | | 目標値 |
| | 大順胆 | ①直線 | ②逆数 | ③対数 | ④べき乗 | ⑤指数 | ⑥ロシ゛スティック | 口保胆 |
| 平成23年度 | ※ 69 | | | | | | | |
| 平成24年度 | ※ 74 | | | | | | | |
| 平成25年度 | 41 | | | | | | | |
| 平成26年度 | 34 | | | | | | | |
| 平成27年度 | 32 | | | | | | | |
| 平成28年度 | | 27 | 31 | 29 | 30 | 28 | | 31 |
| 平成29年度 | | 22 | 30 | 27 | 28 | 24 | | 30 |
| 平成30年度 | | 18 | 30 | 26 | 27 | 22 | | 30 |
| 平成31年度 | | 13 | 29 | 24 | 26 | 19 | | 29 |
| 平成32年度 | | 9 | 29 | 23 | 25 | 17 | | 29 |
| 平成33年度 | | 4 | 29 | 22 | 25 | 15 | | 29 |
| 平成34年度 | | -0 | 29 | 21 | 24 | 13 | | 29 |
| 平成35年度 | | -5 | 29 | 21 | 23 | 12 | | 29 |

※平成23、24年度は、除外して推計を行った。

| 推 | 自計式 | y = a x + b | y = a/x+b | y=alog(x)+b | $y = b x^a$ | $y = b a^x$ | $y=K/(1+be^{-ax})$ | |
|-----|--------------|-------------|-----------|-------------|-------------|-------------|--------------------|--------------|
| H | a | -4. 50 | 13. 62 | -8.40 | -0.23 | 0.88 | | |
| 係数 | b | 44. 67 | 27. 35 | 40.68 | 40.70 | 45. 44 | | 0.24.75 |
| | k | _ | | | | _ | | ②逆数を 採用する |
| 決 | 定係数 | 0. 907 | 0.999 | 0. 975 | 0. 981 | 0. 920 | | 派用する |
| 修正法 | 斉決定係数 | 0.813 | 0.998 | 0. 949 | 0. 963 | 0.840 | | |
| 半 | 川定※ | 0 | 0 | © | 0 | 0 | | |



添付3

【埋立処分地施設】

現有処理施設の概要

| | 平成19年7月 | し尿 浄化槽汚泥 生ごみ | 湿式中温メタン発酵方式 | 29KL/ H | 珠洲市熊谷町2の部 | 珠洲市浄化センター バイオマスメタン 発酵施設 | 珠鲨市 |
|----|------------------------------|--------------------|--------------------|------------------------|----------------------|-------------------------------|----------|
| 備考 | 竣工 | 処理対象物 | 処理方式 | 処理能力 | 所在地 | 施設名称 | 事業者 |
| | | | | | | | 【し尿処理施設】 |
| | 昭和58年4月 (平成14年3月 基幹改良) | 不燃ごみ 海岸漂着物等 | 準好気性埋立 サンドイッチ方式 | $230,040 \mathrm{m}^3$ | 珠洲市宝立町 春日野ムの部15-1 | 珠洲市 一般廃棄物埋立処分場 | 珠洲市 |
| 備考 | 竣工 | 処理対象物 | 処理内容 | 軍空容量 | 所在地 | 施設名称 | 事業者 |

様式1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表1(平成28年度)

地域の概要

| (1) 地域名 | 珠洲市地域 | | (2) 地域内人口 | 15,607人(H27.10.1) |) (3) 地域面積 | 247. 20 | km ² |
|-------------|----------------|--------------------|-------------|-------------------|------------|----------|-----------------|
| (4) 構成市町村等名 | 村等名 珠洲市 | | (5) 地域の要件** | 人口 面積 沖縄 離島 | 奄美(豪雪)山村)半 | ・島(過疎)その | 甲 |
| (6) 構成市區 | 構成市町村に一部事務組合等が | 組合を構成する市町村: | | | 設立年月日: | 年 月 日 | 設立 |
| Ųπ | jiid SMT | 設立されていない場合、今後の見通し: | | | | | |

※ 交付金要綱で定める交付対象となる要件のうち、該当する項目

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

| | | | | | 過去の状況 | 過去の状況・現況(排出量に対する割合) | する割合) | | 目 |
|----------|-------------|---------------------------------|---------------------------|-----------------|----------------|---------------------|-----------------|-----------------|----------------------|
| # | 指標·単位 | | # | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成35年度 |
| | | # # | 総排出量(トン) | 3, 016 | 2, 530 | 2, 770 | 2, 586 | 2, 960 | 2,457 (H27出 -17.0%) |
| | | ₹ ₩ | ネ 1事業所当たりの排出量(トン/事業所) | 2. 04 | 1.67 | 1.73 | 1. 62 | 1.97 | 1.82 |
| 井 | 丑 | 2 3 4 1 1 1 1 | 総排出量(トン) | 2, 882 | 2, 879 | 2, 879 | 2, 779 | 2, 686 | 2, 318 (H27出 -13.7%) |
| | | ※ 訊 | * 1 人当たりの排出量(kg/人) | 135 | 138 | 142 | 141 | 142 | 138 |
| | | √ □ | 計 事業系家庭系排出量合計 (トン) | 5, 898 | 5, 409 | 5, 649 | 5, 365 | 5, 646 | 4,775 (H27比 -15.4%) |
| H | H | | 直接資源化量(トン) | 105 (1.8%) | 106 (2.0%) | 107 (1.9%) | 103 (1.9%) | 104 (1.8%) | 105 (2.2%) |
| <u> </u> | E ₹ H | H | 総資源化量(トン) | 1, 222 (20. 7%) | 1, 225 (22.6%) | 1, 446 (25.6%) | 1, 369 (25.5%) | 1, 295 (22. 9%) | 1,066 (22.3%) |
| 鰲 | 山 収 | 回隣書 | 熱回収量(年間の発電電力量 MWh) | 1 | _ | _ | 1 | - | _ |
| 中 | 処理による減量 | ≣化量 減量 | 中間処理による減量化量 (中間処理前後の差 トン) | 3, 349 (56. 8%) | 3, 397 (62.8%) | 3, 327 (58. 9%) | 3, 282 (61. 2%) | 3, 278 (58. 1%) | 2, 984 (62. 5%) |
| 岷 | 終処分 | | 量 埋立最終処分量 (トン) | 1, 327 (22. 5%) | 787 (14.6%) | 876 (15.5%) | 714 (13.3%) | 1, 073 (19.0%) | 725 (15.2%) |
| | | | | | | | | | |

現有施設の現況と更新、廃止、新設の予定

| | 華 | | | |
|----------|----------------|--------------------|-----------|-----------------|
| | 処理能力(単位) | | 20, 000m³ | |
| | 施設竣工 予定年月 | | H34 | |
| 廃止、新設の内容 | 型式及び 処理方式 | | 覆蓋付埋立処分場 | |
| 更新、 | 更新、廃止、 新設理由 | | 埋立容量の確保 | |
| | 更新、廃止 予定年月 | | H32∼H34 | |
| | 数年四月 | \$58.4 | | H19. 7 |
| の内容 | 処理能力 (単位) | 230, 040m³ | | 29KL/ EI |
| 現有施設の内容 | 補助の 有無 | 柜 | | 卓 |
| | 型式及び 処理方式 | 準好気性埋立 サンドイッチ方式 | | 湿式中温メタン 発酵方式 |
| | 事業主体 | 珠洲市 | 珠洲市 | 珠洲市 |
| | 施設種別 | 埋立処分地施設 | 埋立処分地施設 | し尿処理施設 |

※ 計画地域内の施設の状況(現況、予定)を地図上に示したものを添付する。(様式1添付2)

4 生活排水処理の現状と目標

| | | | 判 | 過去の状況・現況 | 况 | | 目標 |
|-------------------|--------------------|---------|---------|----------|-------------|---------|------------------|
| 指標·単位 | 年 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成35年度 |
| 総人口 | (Y) | 17, 160 | 16, 763 | 16, 354 | 16, 007 | 15, 607 | 13, 808 |
| 班 十 十 2 | 污水衛生処理人口(人) | 3, 873 | 3, 910 | 4, 125 | 4, 360 | 4, 360 | 6, 087 |
| ガボト小道 | 汚水衛生処理率又は衛生処理人口普及率 | 22. 6% | 23. 3% | 25. 2% | 27. 2% | 27.9% | 44.1% |
| 记外化批发事業量 | 污水衛生処理人口(人) | 011 | 989 | 089 | <i>LL</i> 9 | 289 | 平成28年度に パオテルぎ |
| 辰未来冷 尔 小心政 | 汚水衛生処理率又は衛生処理人口普及率 | 4.1% | 4.1% | 4. 2% | 4. 2% | 4. 4% | ガストル型 (特環)へ移行 |
| 今供加田洛化埔 年 | 污水衛生処理人口(人) | 2, 725 | 2, 729 | 2, 720 | 2, 779 | 2, 991 | 3, 383 |
| ᆸᄶᆇᅷᇿᆑᆍ | 汚水衛生処理率又は衛生処理人口普及率 | 15.9% | 16.3% | 16.6% | 17.4% | 19. 2% | 24.5% |
| 未処理人口 | 污水衛生未処理人口(人) | 9, 852 | 9, 439 | 8, 829 | 8, 191 | 7, 569 | 4, 338 |

^{※1} 別添資料として汚水衛生処理人口のトレンドグラフを添付する。(様式1添付3)

5 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

| 中 | 五 | |
|----------|------|-------------------|
| 容 | 目標年次 | H33年度 |
| 整備予定基数の内 | 処理人口 | 889 |
| 基数 | | 300 |
| 開始年月 | | H17年度 |
| 現有施設の内容 | 加理人口 | 926 |
| 餁 | 军数 | 526 |
| 事業主体 | | 珠洲市 |
| 神 달 연 화 | ₩ | 浄化槽設置整備事業(市町村設置型) |

[※] 計画地域内の施設の状況(現況、予定)を地図上に示したものを添付する。(様式1添付4)

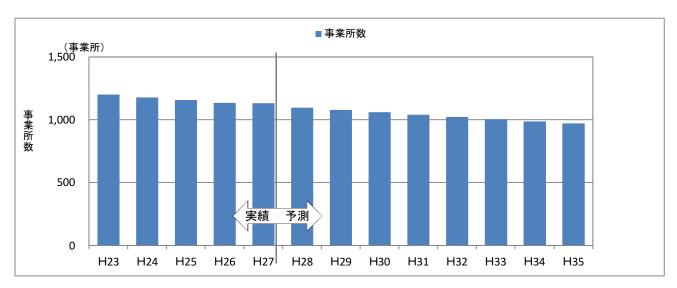
^{※2} 処理人口は各年の10月1日付けである。

指標と人口等の要因に関するトレンドグラフ

【事業所数】

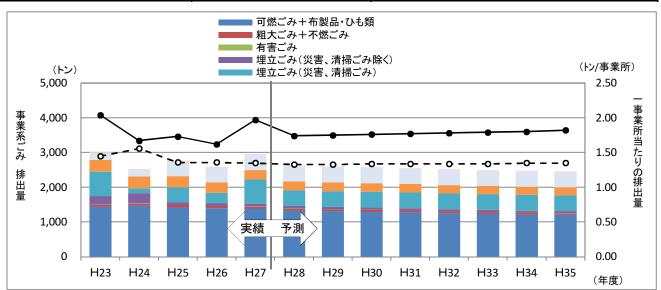
| | | 美 | €績値 : | * | | | | | 予測 | 則値 | | | |
|----------|---------|-------|---------|---------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|
| | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 |
| 事業所数 事業所 | (1,201) | 1,179 | (1,158) | (1,136) | (1,132) | 1,098 | 1,079 | 1,060 | 1,042 | 1,024 | 1,006 | 988 | 971 |

※ 平成18年度 事業所・企業統計調査結果 及び平成21、24年度 経済センサス-基礎調査結果を用いており、平成23、25~27年度の値は推計値

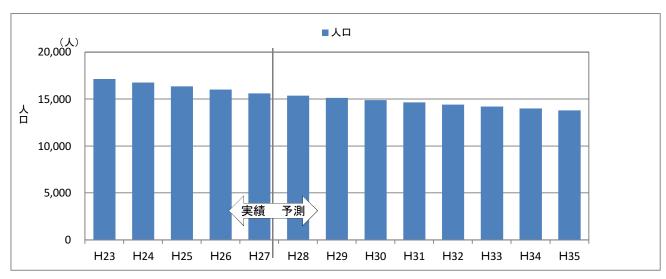


【事業系ごみ排出量】

| | | | | 実績値 | | | | | | 目村 | 票値 | | | |
|----------------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 |
| 事業系 総排出量 | く | 3,016 | 2,530 | 2,770 | 2,586 | 2,960 | 2,632 | 2,603 | 2,577 | 2,553 | 2,522 | 2,499 | 2,476 | 2,457 |
| 事業系 排出量 | トン | 2,450 | 1,975 | 1,998 | 1,846 | 2,228 | 1,916 | 1,891 | 1,869 | 1,848 | 1,822 | 1,802 | 1,783 | 1,767 |
| 事業系 排出量(災害ごみ等除く) | トン | 1,747 | 1,836 | 1,578 | 1,545 | 1,529 | 1,464 | 1,439 | 1,417 | 1,396 | 1,370 | 1,350 | 1,331 | 1,315 |
| 可燃ごみ+布製品・ひも類 | く | 1,434 | 1,471 | 1,418 | 1,400 | 1,387 | 1,335 | 1,315 | 1,294 | 1,277 | 1,253 | 1,235 | 1,217 | 1,203 |
| 粗大ごみ+不燃ごみ | トン | 60 | 60 | 71 | 62 | 64 | 58 | 58 | 57 | 56 | 55 | 54 | 53 | 53 |
| 有害ごみ | く | 4 | 4 | 5 | 4 | 4 | 5 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 埋立ごみ(災害、清掃ごみ除く) | く | 249 | 300 | 85 | 79 | 74 | 66 | 63 | 62 | 59 | 58 | 57 | 56 | 55 |
| 埋立ごみ(災害、清掃ごみ) | トン | 703 | 139 | 419 | 300 | 700 | 452 | 452 | 452 | 452 | 452 | 452 | 452 | 452 |
| 資源ごみ | トン | 344 | 335 | 322 | 303 | 264 | 262 | 258 | 254 | 250 | 246 | 242 | 238 | 236 |
| その他資源化ごみ | く | 180 | 178 | 408 | 396 | 426 | 413 | 413 | 413 | 413 | 413 | 413 | 413 | 413 |
| 専ら物(民間事業者資源化ごみ) | シ | 42 | 42 | 43 | 41 | 42 | 42 | 42 | 42 | 42 | 42 | 42 | 42 | 42 |
| 1事業所当たりの排出量 | トン/事業所 | 2.04 | 1.67 | 1.73 | 1.62 | 1.97 | 1.74 | 1.75 | 1.76 | 1.77 | 1.78 | 1.79 | 1.80 | 1.82 |
| 1事業所当たりの排出量(災害ごみ等除く) | トン/事業所 | 1.45 | 1.56 | 1.36 | 1.36 | 1.35 | 1.33 | 1.33 | 1.34 | 1.34 | 1.34 | 1.34 | 1.35 | 1.35 |

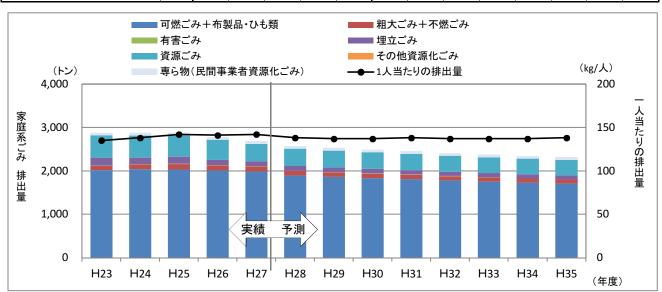


| 【人口】 | | | | | | | | | | | | | | |
|------|---|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | | 実績値 | | | | | | 目相 | 票値 | | | |
| | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 |
| 人口 | 人 | 17,160 | 16,763 | 16,354 | 16,007 | 15,607 | 15,371 | 15,135 | 14,898 | 14,662 | 14,426 | 14,220 | 14,014 | 13,808 |



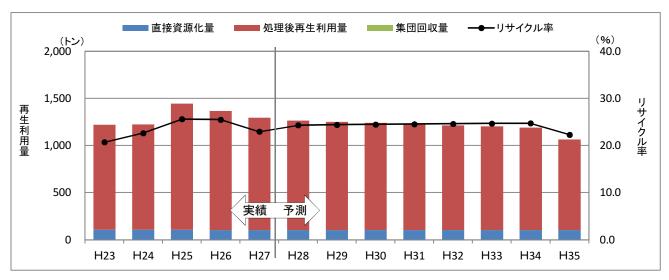
| 【家庭 | 系ごみ | <u>ト排出量</u> | 1 |
|-----|-----|-------------|---|
| | | | |

| | <u> </u> | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----------|----------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 実績値 | | | | | | 目標 | 票値 | | | |
| | | | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 |
| 家 | 庭系 | 総排出量 | トン | 2,882 | 2,879 | 2,879 | 2,779 | 2,686 | 2,574 | 2,532 | 2,493 | 2,458 | 2,413 | 2,379 | 2,346 | 2,318 |
| | 家庭 | 系 排出量(災害ごみ等除く) | トン | 2,308 | 2,308 | 2,327 | 2,257 | 2,222 | 2,116 | 2,080 | 2,048 | 2,017 | 1,979 | 1,951 | 1,923 | 1,900 |
| | Ī | 可燃ごみ+布製品・ひも類 | トン | 2,017 | 2,043 | 2,037 | 2,010 | 1,993 | 1,897 | 1,867 | 1,838 | 1,814 | 1,780 | 1,755 | 1,729 | 1,708 |
| | ; | 粗大ごみ+不燃ごみ | トン | 100 | 112 | 123 | 120 | 113 | 104 | 103 | 101 | 100 | 98 | 97 | 95 | 94 |
| | | 有害ごみ | トン | 7 | 7 | 7 | 6 | 6 | 7 | 7 | 7 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 |
| | t | 埋立ごみ | トン | 186 | 146 | 160 | 121 | 111 | 108 | 103 | 102 | 97 | 95 | 94 | 92 | 91 |
| | 資源 | ごみ | トン | 510 | 508 | 487 | 460 | 402 | 395 | 389 | 383 | 378 | 371 | 365 | 360 | 356 |
| | その |)他資源化ごみ | トン | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 専ら | 物(民間事業者資源化ごみ) | トン | 63 | 63 | 64 | 62 | 62 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 | 63 |
| 1. | 人当た | とりの排出量 | kg/人 | 135 | 138 | 142 | 141 | 142 | 138 | 137 | 137 | 138 | 137 | 137 | 137 | 138 |



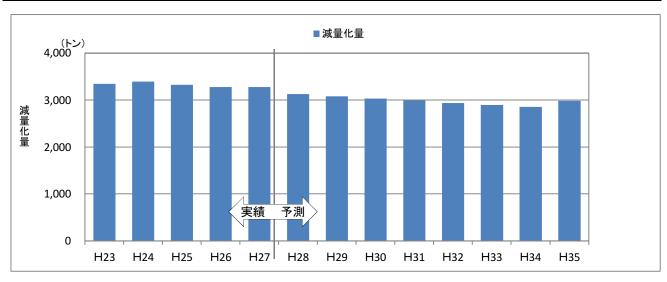
【再生利用量】

| | <u> </u> | 工作用里』 | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----------|---------------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | | | | 実績値 | | | | | | 目標 | 票値 | | | |
| | | | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 |
| 総資 | 至派 | 原化量 | トン | 1,222 | 1,225 | 1,446 | 1,369 | 1,295 | 1,266 | 1,253 | 1,240 | 1,230 | 1,214 | 1,203 | 1,192 | 1,066 |
| | 資. | 源化量 | トン | 1,222 | 1,225 | 1,446 | 1,369 | 1,295 | 1,266 | 1,253 | 1,240 | 1,230 | 1,214 | 1,203 | 1,192 | 1,066 |
| | | 直接資源化量 | トン | 105 | 106 | 107 | 103 | 104 | 105 | 105 | 105 | 105 | 105 | 105 | 105 | 105 |
| | | 金属類 | トン | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 紙類 | トン | 105 | 106 | 107 | 103 | 104 | 105 | 105 | 105 | 105 | 105 | 105 | 105 | 105 |
| | | 処理後再生利用量 | トン | 1,117 | 1,119 | 1,339 | 1,265 | 1,192 | 1,161 | 1,148 | 1,135 | 1,125 | 1,109 | 1,098 | 1,087 | 961 |
| | | 溶解スラグ | トン | 142 | 144 | 139 | 142 | 127 | 130 | 128 | 126 | 125 | 122 | 121 | 119 | |
| | | リサイクルプラザ選別資源物 | トン | 892 | 889 | 874 | 814 | 727 | 707 | 696 | 686 | 677 | 664 | 655 | 645 | 637 |
| | | 堆肥 | トン | 83 | 86 | 86 | 86 | 88 | 86 | 86 | 86 | 86 | 86 | 86 | 86 | 86 |
| | | チップ等 | トン | 0 | 0 | 239 | 223 | 250 | 237 | 237 | 237 | 237 | 237 | 237 | 237 | 237 |
| | 集 | 団回収量 | トン | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| リサ | ⊦イ | ′クル率 | % | 20.7 | 22.6 | 25.6 | 25.5 | 22.9 | 24.3 | 24.4 | 24.5 | 24.5 | 24.6 | 24.7 | 24.7 | 22.3 |



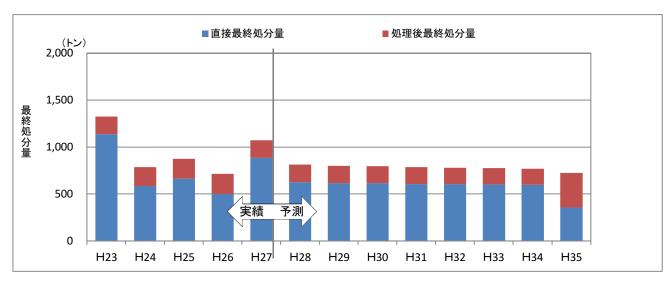
【減量化量】

| | | | | 実績値 | | | | | | 目標 | 票値 | | | |
|------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 |
| 減量化量 | トン | 3,349 | 3,397 | 3,327 | 3,282 | 3,278 | 3,126 | 3,080 | 3,033 | 2,994 | 2,939 | 2,899 | 2,858 | 2,984 |

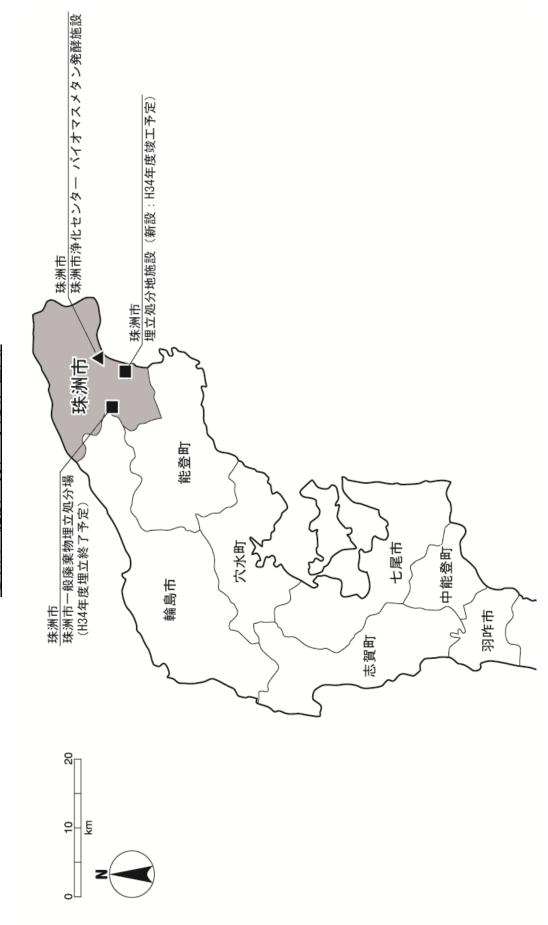


【最終処分量の実績と予測】

| | | | | 実績値 | | | | | | 目標 | 票値 | | | |
|-----------------|----|-------|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 |
| 曼終処分量 | トン | 1,327 | 787 | 876 | 714 | 1,073 | 813 | 802 | 797 | 787 | 781 | 776 | 771 | 725 |
| 直接最終処分量 | トン | 1,137 | 585 | 664 | 500 | 884 | 626 | 618 | 615 | 608 | 605 | 603 | 600 | 358 |
| 埋立ごみ(災害、清掃ごみ除く) | トン | 434 | 447 | 245 | 200 | 185 | 174 | 166 | 163 | 156 | 153 | 151 | 148 | 132 |
| 災害、清掃ごみ | トン | 703 | 139 | 419 | 300 | 700 | 452 | 452 | 452 | 452 | 452 | 452 | 452 | 226 |
| 処理後最終処分量 | トン | 190 | 202 | 212 | 214 | 188 | 187 | 184 | 182 | 179 | 176 | 173 | 171 | 367 |
| RDF化施設残さ | トン | 27 | 29 | 28 | 39 | 37 | 30 | 29 | 29 | 28 | 28 | 27 | 27 | |
| 焼却灰 | トン | | | | | | | | | | | | | 211 |
| 飛灰 | トン | 116 | 120 | 116 | 115 | 95 | 106 | 104 | 102 | 101 | 99 | 98 | 96 | 109 |
| リサイクルプラザ不燃残さ | トン | 47 | 54 | 67 | 60 | 57 | 52 | 52 | 51 | 50 | 49 | 48 | 48 | 47 |



地域内の施設の現況と予定(位置図)

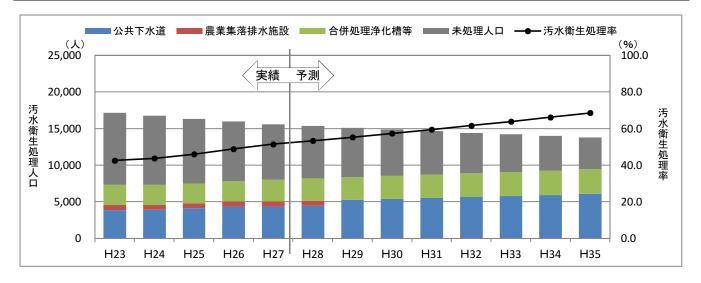


様式1添付3

汚水衛生処理人口のトレンドグラフ

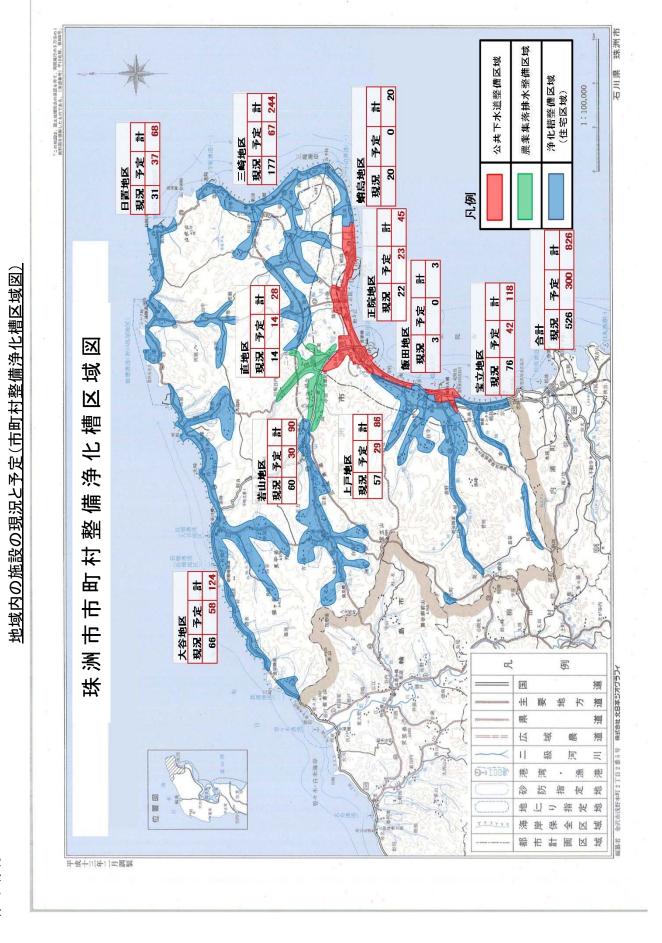
【生活排水処理の実績と予測】

| 【土油排水処理の美 | 限し | 【/川】 | | | | | | | | | | | | |
|-----------|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|----------|---------|----------|--------|------------|--------|
| | | | | 実績値 | | | | | | 目相 | 票値 | | | |
| | | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | H34 | H35 |
| 総人口 | 人 | 17,160 | 16,763 | 16,354 | 16,007 | 15,607 | 15,371 | 15,135 | 14,898 | 14,662 | 14,426 | 14,220 | 14,014 | 13,808 |
| 汚水衛生処理人口 | 人 | 17,160 | 16,763 | 16,354 | 16,007 | 15,607 | 15,371 | 15,135 | 14,898 | 14,662 | 14,426 | 14,220 | 14,014 | 13,808 |
| 汚水衛生処理率 | % | 42.6 | 43.7 | 46.0 | 48.8 | 51.5 | 53.3 | 55.3 | 57.3 | 59.4 | 61.7 | 63.9 | 66.2 | 68.6 |
| 公共下水道 | 人 | 3,873 | 3,910 | 4,125 | 4,360 | 4,360 | 4,487 | 5,282 | 5,406 | 5,533 | 5,665 | 5,801 | 5,942 | 6,087 |
| | % | 22.6 | 23.3 | 25.2 | 27.2 | 27.9 | 29.2 | 34.9 | 36.3 | 37.7 | 39.3 | 40.8 | 42.4 | 44.1 |
| 農業集落排水施設 | 人 | 710 | 685 | 680 | 677 | 687 | 676 | TV cft o | 0年度1- | · ^ + T | か、光 / 井土 | 環)に移 | % = | |
| | % | 4.1 | 4.1 | 4.2 | 4.2 | 4.4 | 4.4 | 十八人 | 0 年 及 1、 | -公共下 | 小胆(村 | 塚川〜10 | 1 J | |
| 合併処理浄化槽等 | 人 | 2,725 | 2,729 | 2,720 | 2,779 | 2,991 | 3,037 | 3,084 | 3,132 | 3,181 | 3,230 | 3,280 | 3,331 | 3,383 |
| | % | 15.9 | 16.3 | 16.6 | 17.4 | 19.2 | 19.8 | 20.4 | 21.0 | 21.7 | 22.4 | 23.1 | 23.8 | 24.5 |
| 未処理人口 | 人 | 9,852 | 9,439 | 8,829 | 8,191 | 7,569 | 7,171 | 6,768 | 6,360 | 5,948 | 5,530 | 5,138 | 4,741 | 4,338 |



公共下水道接続人口の増加や合併浄化槽(市町村設置型)の普及により、汚水衛生処理率は 年々上昇している。

よって、今後も現状の傾向を維持していくことを目標とし、目標値(公共下水道、農業集落 排水施設、合併浄化槽等処理人口)は、実績値の平均変化率にて推移するものとして設定した。



様式 2

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2(平成28年度)

| | 事業種別 | | 株田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田 | #目# | | 事業期間 | == | | | 総事業費 | (手) | Ê | | | | | | 交付 | 交付対象事業費 | | (年円) | | | |
|---------------|---------------------------------------|-------|--|----------|-----|---------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|------------|---------|--------------|--------------|--------------|--------------------|-------------------|--------------|
| - | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 梅마: | · · · · · · · · · · | E | | を付期間 | | | | ' | 一次計画 | lær | | | 二十三人 | | | | ľ | 一次計画 | | | 二二 | 五 語 番 |
| - | | | : I | | 単位開 | 開始終了 | | 平成 27年度 | 平成 28年度 | 平成 29年度 | 平成 30年度 | 平成 31年度 | 平成 32年度 | 平成 33年度 | 平成 34年度 | ,,, | 平成 27年度 | 平成 3 | 平成 29年度 3 | 平成 30年度 3 | 平成 31年度 3 | 平成 平成 32年度 33年度 | t 平成 度 34年度 | (|
| 〇最多 | 〇最終処分場に関する事業 | | | | | | 1, 824, 280 | 0 | | | | | 166, 320 | 803, 470 | 854, 490 | 1, 709, 890 | | | | | 1 | 144, 600 780, 820 | 820 784, 470 | 0/1 |
| | 最終処分場の整備 | — | 珠洲市 2 | 20, 000 | "E | Н32 Н34 | 4 1,824,280 | | | | | | 166, 320 | 803, 470 | 854, 490 | 1, 709, 890 | | | | | - | 144, 600 780, 8 | 780, 820 784, 470 | 071 |
| 0 争 (| 〇浄化槽に関する事業 | | | | | | 341, 258 | 8 44, 663 | 3 98, 294 | 4 52, 953 | 36, 337 | 36, 337 | 36, 337 | 36, 337 | 米記 | 341, 258 | 44, 663 | 98, 294 | 52, 953 | 36, 337 | 36, 337 | 36, 337 36, 3 | 36,337 未定 | B-1 |
| | 浄化槽設置整備 | 2 13 | 珠溪市 | 300 | 州 | H27 H33 | 3 341, 258 | 8 44, 663 | 3 98, 294 | 4 52, 953 | 36, 337 | 36, 337 | 36, 337 | 36, 337 | 米出 | 341, 258 | 44, 663 | 98, 294 | 52, 953 | 36, 337 | 36, 337 | 36, 337 36, 3 | 337 未定 | 5.1 |
| と 関盟 計画 | 〇施設整備に関する 計画支援に関する事業 | | | | | | 103, 000 | | | 28, 700 | 30, 000 | 44, 300 | | | | 103, 000 | | | 28, 700 | 30, 000 | 44, 300 | | | |
| | 事间 | 31 13 | 珠洲市 | | | Н29 Н29 | 9 4, 300 | 0 | | 4, 300 | | | | | | 4, 300 | | | 4, 300 | | | | | |
| | 地質調査 | 31 | 珠溪中 | | | Н29 Н29 | 9 18, 500 | | | 18, 500 | | | | | | 18, 500 | | | 18, 500 | | | | | |
| , | 基本計画 及び基本設計 | 31 13 | 珠洲市 | | | Н29 Н30 | 0 25, 900 | | | 5, 900 | 20, 000 | | | | | 25, 900 | | | 5, 900 | 20, 000 | | | | |
| | 生活環境影響調査 | 31 | 珠溪市 | | | H30 H31 | 1 21, 300 | | | | 10, 000 | 11, 300 | | | | 21, 300 | | | | 10, 000 | 11, 300 | | | |
| , | 実施設計 | 31 ₺ | 珠洲市 | | | H31 H31 | 33, 000 | | | | | 33, 000 | | | | 33, 000 | | | | - | 33, 000 | | | |
| | 合計 | | | | | | 2, 268, 538 | 8 44, 663 | 3 98, 294 | 4 81, 653 | 66, 337 | 80, 637 | 202, 657 | 839, 807 | | 2, 154, 148 | 44, 663 | 98, 294 | 81, 653 | 66, 337 | 80, 637 | 180, 937 817, 157 | 157 | |

^{※1} 事業番号については、計画本文3 (3)表3.2、表3.3、表3.4、3 (4)表3.5に示す事業番号及び様式3の施設整備に関する事業番号と一致 ※2 総事業費と交付対象事業費の合計については、二次計画を含む

様式3

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

| ******** | 事業 | 佐佐のなむか | **** | 実施 | | 期間 | 交付金 | 事業計画 |
|-------------------------------|--------|-------------------|---|-----|---------|----------------|-----------|--|
| 施策種別 | 番号 ※ 1 | 施策の名称等 | 施策の内容 | 主体 | 開始 | 終了 | 必要の 要否 | 平成 平成 平成 平成 平成 平成 平成 平成 平成 本成 27年度 30年度 31年度 32年度 33年度 |
| | 11 | 環境教育 | ・ポスター、広報紙等による普及啓発 ・小学生を対象とした社会科見学の実 施等の環境教育 | 珠洲市 | H 27 | H 33 | - | パネル展示、ポスター、広報、ホームページ等による普及啓発 |
| | 12 | 有料化 | ・収集ごみ及び持込ごみに対する 適正なごみ処理手数料の徴収 | 珠洲市 | H 27 | H 33 | _ | 指定袋、シール、持込料金の徴収 関連事業 21・22 |
| | 13 | 容器包装の 排出抑制 | ・マイパック運動の推進 | 珠洲市 | H 27 | H 33 | - | 広報、パンフレット等による運動の推進 |
| 発生抑制、 再使用の推 | 14 | 事業系一般廃棄物 の発生抑制 | ・事業者に対する3Rへの取り組み 促進 | 珠洲市 | H 27 | H 33 | - | 事業者に対する普及啓発 関連事業 22 |
| 進に関する もの | 15 | 小型家電の資源化 | ・小型家電選別回収の継続・小型家電資源化に対する普及啓発 | 珠洲市 | H 27 | H 33 | - | 選別回収、資源化に対する広報、パンフレット等による 普及啓発 21 |
| | 16 | 生ごみの資源化 | ・生ごみ処理機購入費助成の継続 ・生ごみ堆肥化などの普及啓発 ・珠洲市バイオマスメタン発酵施設で の事業系生ごみ資源化の継続 | 珠洲市 | H 27 | H 33 | - | 広報、パンフレット等による普及啓発 関連事業 事業系生ごみの資源化継続 21・22・23 |
| | 17 | 剪定枝等の資源化 | ・民間事業者による資源化処理の推奨 ・チップ等の利用拡大について検討 | 珠洲市 | H 27 | H 33 | - | 民間事業者による資源化処理 サップ等の利用拡大の検討 |
| | 18 | 民間事業者による 資源物回収 | ・民間事業者による資源物回収の継続 | 珠洲市 | H 27 | H 33 | _ | 民間事業者による資源物回収 21・22 |
| | 21 | 家庭系ごみの処理体制 | ・ごみ固形燃料化⇒焼却処理への移行 ・分別区分の見直し ・焼却施設整備に伴う埋立前の不燃物 ・の選別 | 珠洲市 | H 27 | H 33 | _ | 処理の継続(平成35年度に焼却処理へ移行) |
| 処理体制の 構築、変更 に関するも の | 22 | 事業系一般廃棄物 の処理体制 | ・家庭系ごみと併せた処理の継続 ・珠洲市バイオマスメタン発酵施設で の事業系生ごみ資源化の継続 | 珠洲市 | H 27 | H 33 | - | 処理の継続(平成35年度に焼却処理へ移行) 関連事業 1・3・12 ・14・16 ・17・18 |
| | 23 | 生活排水の処理 | ・市町村型合併浄化槽の整備 ・珠洲市バイオマスメタン発酵施設で のし尿及び浄化槽汚泥の処理の継続 | 珠洲市 | H 27 | H 33 | - | 処理の継続、合併浄化槽の普及啓発 |
| 処理施設の | 1 | 最終処分場整備 | 最終処分場の新設 | 珠洲市 | H 32 | H 33 **3 | 0 | 最終処分場 建設工事 関連事業 21·22 ·31·42 |
| 整備に関す るもの | 2 | 合併浄化槽整備 | 市町村型合併浄化槽の整備 | 珠洲市 | H 27 | H 33 | 0 | 合併浄化槽整備工事 23·42 |
| 施設整備に 係る計画支 援に関する もの | 31 | 事業番号1の 計画支援 | ・ 測量 ・ 地質調査 ・ 基本計画及び基本設計 ・ 生活環境影響調査 ・ 実施設計 | 珠洲市 | H 29 | H 31 | 0 | 計画支援業務 関連事業 |
| | 41 | 不法投棄対策 | ・町内会などと一体となった普及啓発 ・パトロールの強化等 | 珠洲市 | H 27 | H 33 | - | 普及啓発、パトロールの強化等 |
| その他 | 42 | 災害廃棄物処理体 制の整備 | ・ 災害廃棄物処理計画策定の検討 | 珠洲市 | H 29 | H 33 | - | 検討 関連事業 1・2 |

^{※1} 事業番号については、計画本文3 (3) 表3.2、表3.3、表3.4、3 (4) 表3.5に示す事業番号及び様式2の施設整備に関する事業番号と一致 ※2 既に実施している施策については、事業開始をH27として示している。 ※3 最終処分場工事は、平成32年度~平成34年度までであり、二次計画に続く

施設概要 (最終処分場系)

<u>石 川 県</u>

| (1) 事 | 事業主体名 | 珠洲市 | | | | | |
|-------|------------------|---------|----------------|------|-----------|------|------------------------|
| (2) 旅 | 施設名称 | 珠洲市一般廃葬 | 棄物最終処分場 | | | | |
| (3) ユ | 工期 | 平成32年度 | ~ 平成34年度 | | | | |
| | 心分場面積、容 責 | 総面積 | 17, 000 m² | 埋立面積 | 2, 560 m² | 埋立容積 | 20, 000 m ³ |
| (5) 划 | 処分開始年度 及び終了年度 | | 成35年度 成54年度 | | | | |
| (6) 固 | 亦地利用計画 | | | | | | |
| | 也域計画内の 役割 | 珠洲市の一般原 | 廃棄物の最終処分 | } | | | |
| | 廃焼却施設解体 エ事の有無 | 有・(| 無 | | | | |

| | | | | | | 一次計画 | | | 二次計画 | 単位∶千 |
|-----------|-----------------|--------------|-------------|--------|--------|--------|----------|----------|----------|------|
| | | | 全体 | 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | 平成34年度 | |
| | 本工事費 | 交付対象 事業費 | 1, 701, 370 | 0 | 0 | 0 | 143, 880 | 776, 930 | 780, 560 | |
| | 平工事員 - | 交付対象外 事業費 | 84, 370 | 0 | 0 | 0 | 18, 920 | 9, 570 | 55, 880 | |
| (9) 事業計画額 | 施工監理費 | 交付対象 事業費 | 8, 520 | 0 | 0 | 0 | 720 | 3, 890 | 3, 910 | |
| | ル工血 理員 - | 交付対象外 事業費 | 30, 020 | 0 | 0 | 0 | 2, 800 | 13, 080 | 14, 140 | |
| | 交付対象事 | 工業費 計 | 1, 709, 890 | 0 | 0 | 0 | 144, 600 | 780, 820 | 784, 470 | |
| | 交付対象外 | 事業費 計 | 114, 390 | 0 | 0 | 0 | 21, 720 | 22, 650 | 70, 020 | |
| | 4 | 슬 計 | 1, 824, 280 | 0 | 0 | 0 | 166, 320 | 803, 470 | 854, 490 | |

施設概要 (浄化槽系)

石 川 県

| (1) | 事業主体名 | 珠洲市 |
|-----|-------------|--|
| (2) | 事業名称 | 浄化槽市町村整備推進事業 |
| (3) | 事業の実施目的及び内容 | 生活排水の適正処理のため、市が主体となって面的整備を推進する。 |
| (4) | 事業期間 | 平成27年度~平成33年度 |
| (5) | 事業対象地域の要件 | 浄化槽市町村整備推進事業実施要綱第3の(1)のアに規定する(ア)~(サ)のうち、(エ)過疎地域自立促進特別措置法(平成12年法律第15号)第2条に規定する過疎地域であって、環境大臣が適当と認める地域(オ)山村振興法(昭和40年法律第64号)第7条第1項に規定する振興山村であって、環境大臣が適当と認める地域(カ)農業振興地域の整備に関する法律(昭和44年法律第58号)第6条第1項の規定に基づき指定された農業振興地域内の農業集落排水施設の処理区域周辺地域として環境大臣が適当と認める地域(キ)漁業漁業整備法(昭和25年法律第137号)第6条の規定により指定された漁港の背後の漁業集落及びその周辺地域等であって、環境大臣が適当と認める地域(ク)自然公園法(昭和32年法律161号)第2条第1項に規定する自然公園地域(コ)浄化槽による汚水処理が経済的・効率的である地域であって、環境大臣が適当と認める地域(サ)既に事業を実施している地域 |
| (6) | 事業計画額 | 交付対象事業費 341,258 千円 うち (以下の事業を実施する場合) ・低炭素社会対応型浄化槽整備推進事業に係る事業費 44,333 千円 ・環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業費 296,925 千円 |

〇 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

| 区分 | 交付対象基数 (人分) | うち 単独撤去 | 基準額 (千円) | 対象経費 支出予定額 (千円) | 交付対象 事業費 (千円) |
|------------|-----------------|------------|-------------|-----------------------|---------------------|
| 5 人槽 | 基 (人分) | 基 | | | |
| 6 ~ 7 人槽 | 基(人分) | 基 | | | |
| 8 ~ 10 人槽 | 基 (人分) | 基 | | | |
| 11 ~ 20 人槽 | 基 (人分) | 基 | | | |
| 21 ~ 30 人槽 | 基 (人分) | 基 | | | |
| 31 ~ 50 人槽 | 基 (人分) | 基 | | | |
| 51 人槽以上 | 基 (人分) | 基 | | | |
| 改築 | 基 | | | | |
| 計画策定調査費 | | | | | |
| 合計 | 基 (人分) | 基 | | | |
| 口前 | 改築を除く | | | | |

【浄化槽市町村整備推進事業の場合】

| 区分 | 交付対象基数 (人分) | うち 単独撤去 | 基準額 (千円) | 対象経費 支出予定額 (千円) | 交付対象 事業費 (千円) |
|------------|-----------------|------------|-------------|-----------------------|---------------------|
| 5 人槽 | 191 基(382 人分) | 14 基 | 882 | 168, 462 | 168, 462 |
| 6~ 7人槽 | 11 基(66 人分) | 1 基 | 1, 104 | 12, 144 | 12, 144 |
| 8 ~ 10 人槽 | 6 基 (48 人分) | 1 基 | 1, 495 | 8, 970 | 8, 970 |
| 11 ~ 15 人槽 | 1 基 (11 人分) | 基 | 2, 191 | 2, 191 | 2, 191 |
| 16 ~ 20 人槽 | 0 基 (0 人分) | 基 | 2, 937 | 0 | 0 |
| 21 ~ 25 人槽 | 0 基 (0 人分) | 基 | 3, 491 | 0 | 0 |
| 26 ~ 30 人槽 | 0 基 (0 人分) | 基 | 4, 271 | 0 | 0 |
| 31 ~ 40 人槽 | 0 基 (0 人分) | 基 | 4, 743 | 0 | 0 |
| 41 ~ 50 人槽 | 1 基 (0 人分) | 基 | 5, 993 | 5, 993 | 5, 993 |
| 51 人槽以上 | 0 基 (0 人分) | 基 | 大臣協議 | 0 | 0 |
| 平成27年度(実績) | 40 基(146 人分) | 7 基 | | 44, 333 | 44, 333 |
| 平成28年度(見込) | 50 基(236 人分) | 8 基 | | 98, 294 | 98, 294 |
| 事務費※ | | | | 871 | 871 |
| 合計 | 300 基 (889 人分) | 31 基 | | 341, 258 | 341, 258 |

[※] 事務費内訳:平成27年度(実績)=330千円、平成29年度=541千円

○ 事業対象地域が「経済的・効率的である地域」の場合の経済性・効率性の比較

 市町村総人口
 16,123 人
 市町村世帯数
 6,451 世帯

 対象地域人口
 7,228 人
 対象地域世帯数
 2,909 世帯

| | 総建設費 (千円) | 1年当たり 建設費 | 1年当たり 維持管理費 | 1年当たり コスト |
|-------------|--------------|--------------|----------------|--------------|
| 集合処理で整備した場合 | 957, 149 | 30, 617 | 9, 912 | 40, 529 |
| 個別処理で整備した場合 | 210, 149 | 9, 923 | 16, 857 | 26, 780 |

施設比較検討の積算内容資料を添付する。

[※] 経済性・効率性の比較は平成26年作成のため、人口・世帯数は平成26年4月1日時点のものである。

2.7106個別処理 ②③は接続率100%超を要す 個別処理 ②③は接続率100%超を要す 個別処理 ②③は接続率100%超を要す 2.0461 家屋存続を考慮し個別処理 家屋存続を考慮し個別処理 파 個別処理 個別処理 個別処理 個別処理 個別処理 3.5073 個別処理 個別処理 個別処理 4.3639 個別処理 0.0000 個別処理 個別処理 個別処理 個別処理 個別処理 個別処理 2.7884 4.5169 2.7689 2.8986 4.6684 4.4434 2.8389 2.6293 2.6850 2.7257 3.2001 3.4231 0.0000 1.9362 4.7901 3.7480 4.3587 3.5768 2.9957 0.0000 2.9902 2.9067 0.0000 3.3531 費用対 初期投資 0.0000 0.878 0.000 0.673 0.773 1.017 1.013 0.699 0.573 0.682 0.988 0.616 0.988 0.944 0.856 0.956 0.705 0.000 0.535 0.884 1.252 0.923 0.900 0.000 0.000 0.962 0.857 0.000 0.841 1.151 0.651 0.791 対果 5.6188 4.7473 4.8818 2.9912 4.1418 3.0215 3.4258 5.8324 3.8177 3.0133 3.9720 4.0559 3.2706 4.0936 5.1285 5.1882 5.1288 5.0357 3.0000 2.9133 3.4504 初期投資 3.9727 4.9784 4.6523 2.9234 3.5461 4.7150 3.6581 3.5051 3.3037 子例 0.738 0.835 0.643 0.800 0.878 0.670 0.585 費用対 0.677 0.755 0.990 0.779 0.699 0.729 0.474 0.637 0.662 0.811 0.903 0.598 1.193 0.852 0.878 0.857 .200 0.884 0.873 0.763 0.769 0.855 0.724 0.504 568 633 59 166 153 103 499 202 679 663 189 85 524 143 483 690 1,180 443 935 1,113 1,098 4 287 117 年間費用(万円) ③集合処理+個別処理 153 30 135 54 155 323 190 21 4 4 144 191 191 197 133 304 372 274 建設費 惟特管理發 415 38 55 310 895 466 443 125 112 355 123 518 502 146 389 89 328 493 857 631 824 741 建設費 23,705 12,238 10,550 10,505 1,274 4,813 4,183 9,845 546 16,660 6,694 5,736 11,464 2,885 14,643 26,834 9.563 16,910 20,822 27,737 2,633 2,359 1,868 9,886 3.026 15.872 (HH) 16,602 668 594 648 193 199 103 489 694 683 339 206 540 150 560 725 690 1,300 548 1,040 2,085 228 23 年間費用(万円) 4.288 333 145 167 22 4 41 24 121 65 13 81 41 28 130 39 158 183 195 335 150 316 323 495 建設者 作特管理 161 161 161 261 ②集合処理 449 53 79 163 28 258 65 410 542 495 615 481 152 58 224 368 533 522 165 Ξ 402 92 61 965 398 724 793 ,590 12.314 12,250 368,534 建設費 24,643 12,200 12,605 12,390 17,133 14.618 18,894 21,908 17,190 48,246 1,924 3,169 10,710 1.000 17,315 16,842 8,309 2,407 11,247 29,647 5,975 6,267 7,803 4,339 6,627 3.504 11.271 (HH) ,039 382 489 60 155 286 108 36 442 452 84 323 179 108 108 610 1,135 800 954 191 191 227 167 477 621 050 年間費用(万円) 7.707 278 38 98 45 23 143 53 113 654 285 240 308 120 120 80 68 285 05 203 300 68 391 99 263 504 399 建設者 作特管理 381 601 661 1)個別処理 4.543 385 142 22 57 106 4 13 164 84 62 120 99 177 40 230 229 155 296 235 167 167 3 40 423 353 389 18 8,178 1,316 建設費 3,854 470 1,504 2,256 846 282 3,478 1,786 658 2,538 3,760 4,888 4.838 3.290 6.298 7,520 96,532 1,222 564 1,504 846 8,974 4,982 (HH) 915 107 1,022 2,685 114 15 人口 164 06 85 44 38 18 44 62 106 53 38 70 44 109 132 129 103 21 9 223 141 243 191 定任 87 32 16 24 38 6 40 52 93 67 80 53 88 戸数(戸) 費用対効果検討結果一覧 70# 20 56 29 39 35 36 8 15 45 44 65 9/ 48 7 83 3 延武(1)を集排に連結 宝立町柏原鳥屋尾 宝立町柏原石谷内助政 大谷東 中学校含む 大谷西 小学校含む 宝立町柏原小屋 上戸町寺社(2) 宝立町柏原(2) 上戸町中社(1) 宝立町柏原善野 **粘山町崩城(1)** 若山町延武(2) 宝立町柏原郷 若山町殖城(3) 三崎町大屋 宝立町見鳥 三崎門粟津 宇都山(1) 宇都山(3) 字都山(2) 三崎町茶쮎 狼煙横山 寺家(2) 中家(1) **旨無三** 寺家(3) 片岩 狼煙 大坊 茗冈 丰 0 米-

注1)人口減少を考慮している。 注2)費用対効果だけでなく、初期投資、財政負担、家屋の存続性も考慮して決定

個別処理 1.2未満では初期投資大きい分不利 파 個別処理 個別処理 個別処理 個別処理 個別処理 個別処理 個別処理 5.3599 個別処理 個別処理 個別処理 個別処理 0.0000 個別処理 個別処理 3.8710 個別処理 6.9753 個別処理 0.0000 4.4338 0.0000 4.4285 4.9054 4.6479 4.1847 0.0000 0.0000 4.5834 6.2187 0.0000 6.9481 5.5532 4.0290 4.7291 4.0094 3.4927 3.4429 3.7262 6.3826 2.5922 0.0000 2.8298 4.9033 費用対 初期投資 0.0000 0.615 0.413 0.712 0.000 0.747 0.509 0.482 0.000 0.643 0.742 0.438 0.734 0.502 0.000 0.565 0.596 0.658 0.878 0.000 0.448 0.580 0.000 0.000 0.000 0.663 0.000 0.747 0.730 0.517 0.927 0.841 対果 7.0915 7.6043 6.8255 6.6370 5.1518 4.0515 4.0319 8.2419 5.8676 5.3070 7.1383 5.7530 3.5362 4.7517 10.5066 9.7742 7.5790 5.3920 5.3124 4.4499 7.3844 初期投資 8.4617 4.8085 4.8766 4.6667 4.6631 4.6583 10.8431 4.7021 3.2991 子例 0.580 0.544 0.375 0.695 0.419 0.453 0.510 0.346 費用対 0.750 0.384 0.857 0.750 0.633 0.308 0.485 0.471 0.531 0.433 0.396 0.637 0.795 0.548 0.568 0.628 0.716 0.661 0.453 0.735 0.490 000 0.531 542 281 574 247 594 128 600 406 594 168 230 323 260 399 272 625 319 219 612 227 年間費用(万円) ③集合処理+個別処理 86 146 153 147 103 136 70 65 136 92 8 47 103 建設費 催特管理發 391 206 428 166 441 8 453 303 458 129 160 195 296 153 191 489 227 133 427 231 6,149 建設費 12.072 11,012 6,046 12,911 4.369 13,337 14,425 9.834 14,614 4,176 6,817 5.779 16,199 1,462 8.186 10,601 9.422 5,253 5,254 4,522 HH. 2,911 603 308 702 429 633 240 336 283 525 304 463 108 398 11,140 597 344 227 991 271 791 年間費用(万円) 2.573 139 69 139 67 13 145 67 126 62 101 24 33 67 65 81 33 69 134 75 124 31 198 建設者 作特管理 131 2 121 ②集合処理 8.567 247 243 48 458 576 328 175 255 214 229 342 286 397 473 241 282 502 89 194 208 133 391 198 589 5,917 273,573 建設費 15,142 7,954 14,293 20,213 10.947 11.460 20.918 8,052 1,315 16,665 6,416 6.589 7.072 5,685 9,488 15,965 1,662 3.574 5,327 2,632 2.791 7,901 9,97 4,991 (HH) 333 119 60 382 95 263 298 298 60 95 119 95 214 132 155 298 179 108 167 191 227 323 227 203 274 年間費用(万円) 3.728 210 75 38 23 240 105 88 38 9 75 9 35 83 98 20 113 45 143 68 255 90 60 65 88 43 203 173 建設費 作特管理 1)個別処理 2,189 128 53 123 44 22 13 142 35 98 62 110 110 22 35 44 35 79 49 57 110 84 99 120 84 40 75 10 2,726 2,350 建設費 3,196 2,632 940 470 282 3,008 2.068 2,350 470 752 940 1.504 1,786 2.538 1,786 846 2,162 46,624 752 752 ,692 1,034 564 1,598 2.350 (HH) 73 1,335 人口 32 79 26 15 85 62 38 70 5 23 38 23 53 32 29 44 56 50 26 62 73 定住 496 29 34 12 28 25 25 3 23 27 戸数(戸) 44 費用対効果検討結果一覧 70# 452 26 29 25 7 = 27 7 7 世代 7 馬緤町忍久保(2) 馬緤町鰐崎(1) 馬緤町鰐崎(2) 馬緤町鰐崎(3) 長橋町坂石山 若山町吉ヶ池 大谷町作が平 大谷町中谷内 三崎町杉山(2) 三崎町杉山(3) 三崎町杉山(4) 馬緤町忍久保 長橋町角間 馬緤町国永出 馬緤町上水場 三崎町二本松 清水町吉森 **粘山町北山** 長橋町中村 大谷町森吉 大谷町土口 大谷門外口 川高門杉田 清水町白山 馬緤町沿 長橋町 笹波町 仁江町 馬緤町 軍 払区 丰 表2

注1)人口減少を考慮している。 注2)費用対効果だけでなく、初期投資、財政負担、家屋の存続性も考慮して決定

表3 費用対効果検討結果一覧

| 表3 費用对効果模討結果一覧 | 英 <u>討 </u> | imi | t | | (年)(日日)(日日) | hn III | | | の年本加田 | HI II | | Ø#⊅ | 年 今 11 11 11 11 11 11 11 11 11 | EI IV I'E | | ÷ | | € 5 | 6 | |
|---|--|---------|---------|-------------|---|-----------------|--------|-----------------|--------|-----------------|--------|--------|--------------------------------|-----------------|----------|---|---------|--------|--------------|-------------------------------|
| | 回案回 | ĺ | ¥ - | 神記典 | (回位) | 间办还注 年間类用(下田 | 1_ | 神記典 | 6米口: | 来口必任 年間券田/万田 | | | 12位任工具作用を開発し | 6年「四別巡缉年間寿田(万田) | 華 | の 第 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | 加化浴 | 17日報 | この対明化学 | |
| 地区 | 定住をの他 | # # # | 3 | 连成员 (万円) | マートリター (ソース) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学 | 1847 | 計 | 海 100 月 (万円) | 建設費惟持 | 山見かいたい 性持管理事 | # | | キーロターバー 建設費 性持管理 | | / 計 数 | | | | 5岁17次月 比率 | 判定 |
| 石神町 | 9 | 4 10 | 0 18 | 940 | 44 | 75 | 119 | 7,114 | 227 | 69 | 296 | 2,769 | 83 | 62 | 145 | 0.402 | 7.5681 | 0.821 | 2.9457 | 個別処理 |
| 高屋町 | 75 4 | 4 79 | 9 220 | 7,426 | 350 | 594 | 944 | 30,762 | 942 | 308 | 1,250 | 28,034 | 883 | 325 | ,208 | 0.755 | 4.1425 | 0.781 | 3.7751 | 個別処理 |
| 折戸町 | 19 5 | 5 24 | 4 56 | 2,256 | 106 | 180 | 286 | 9,303 | 236 | 63 | 299 | 8,145 | 214 | 77 | 291 | 0.957 | 4.1237 | 0.983 | 3.6104 | 個別処理 |
| 折戸町木ノ浦 | 3 0 | 0 | 3 9 | 282 | 13 | 23 | 36 | 2,118 | 54 | 15 | 69 | | | | | 0.522 | 7.5106 | 0.000 | 0.0000 | 個別処理 |
| 折戸町新保出 | 42 6 | 6 48 | 8 123 | 4,512 | 213 | 360 | 573 | 20,604 | 621 | 191 | 812 | 14,310 | 491 | 220 | 711 | 90.70 | 4.5665 | 908.0 | 3.1715 | 個別処理 |
| 折戸町向出 | 38 5 | 5 43 | 3 111 | 4,042 | 189 | 324 | 513 | 25,161 | 737 | 222 | 926 | 22,745 | 679 | 229 | 806 | 0.535 | 6.2249 | 0.565 | 5.6272 | 個別処理 |
| 東山中町洲巻 | 0 | 0 | 9 26 | 846 | 40 | 99 | 108 | 2,779 | 130 | 63 | 193 | 1,610 | 54 | 37 | 91 | 0.560 | 3.2849 | 1.187 | 1.9031 | 個別処理 1.2未満では初期投資大きい分不利 |
| 東山中町山中(1) | 3 | 7 | 4 9 | 376 | 17 | 30 | 47 | 1,737 | 48 | 22 | 70 | 783 | 27 | 28 | 55 | 0.671 | 4.6197 | 0.855 | 2.0824 | 個別処理 |
| 東山中町山中(2) | 9 | _ | 7 18 | 658 | 31 | 53 | 84 | 2,220 | 61 | 28 | 88 | 1,775 | 52 | 37 | 95 | 0.944 | 3.3739 | 0.913 | 2.6976 | 個別処理 |
| 東山中町渡瀬 | 0 9 | 0 | 6 18 | 564 | 27 | 45 | 72 | 1,770 | 52 | 26 | 78 | | | | | 0.923 | 3.1383 | 0.000 | 0.0000 | 個別処理 |
| 東山中町北山 | 11 | 0 | 1 32 | 1,034 | 49 | 83 | 132 | 4,052 | 105 | 33 | 138 | 3,244 | 94 | 20 | 144 | 0.957 | 3.9188 | 0.917 | 3.1373 | 個別処理 |
| 三崎町二本松(2) | 9 | 3 | 9 18 | 846 | 40 | 89 | 108 | 10,241 | 291 | 69 | 360 | 3,275 | 91 | 54 | 145 | 0.300 | 12.1052 | 0.745 | 3.8712 | 個別処理 |
| 三崎町細屋(1) | 20 1 | 1 21 | 1 59 | 1,974 | 93 | 158 | 251 | 15,775 | 373 | 59 | 432 | 13,306 | 323 | 73 | 396 | 0.581 | 7.9914 | 0.634 | 6.7406 | 個別処理 |
| 三崎町細屋(2) | 18 | 1 19 | 9 53 | 1,786 | 84 | 143 | 227 | 10,825 | 266 | 26 | 322 | 9,349 | 233 | 64 | 297 | 0.705 | 6.0610 | 0.764 | 5.2346 | 個別処理 |
| 三崎町本 | 5 0 | 0 | 5 15 | 470 | 22 | 38 | 09 | 3,612 | 91 | 24 | 115 | 1,068 | 35 | 28 | 63 | 0.522 | 7.6851 | 0.952 | 2.2723 | 個別処理 |
| 三崎町本・内方 | 58 3 | 3 61 | 1 170 | 5,734 | 270 | 459 | 729 | 30,764 | 865 | 234 | 1,099 | 27,943 | 695 | 167 | 862 | 0.663 | 5.3652 | 0.846 | 4.8732 | 個別処理 |
| 三崎町宇治・引砂・森雕 | 147 18 | 8 165 | 5 431 | 15,510 | 730 | 1,240 | 1,970 | 50,888 | 1,656 | 619 | 2,275 | 45,187 | 1,324 | 507 | 1,831 | 0.866 | 3.2810 | 1.076 | 2.9134 | 個別処理 1.2未満では初期投資大きい分不利 |
| 三崎町高波 | 19 2 | 2 21 | 1 56 | 1,974 | 93 | 158 | 251 | 9,688 | 294 | 88 | 382 | 8,563 | 274 | 103 | 377 | 0.657 | 4.9078 | 999.0 | 4.3379 | 個別処理 |
| 若山町二子 | 8 | 0 | 8 23 | 752 | 32 | 09 | 95 | 3,691 | 96 | 31 | 127 | 3,026 | 81 | 36 | 117 | 0.748 | 4.9082 | 0.812 | 4.0239 | 4.0239 個別処理 |
| 若山町上山 | 14 | 15 | 5 41 | 1,410 | 99 | 113 | 179 | 5,585 | 143 | 41 | 184 | 5,004 | 133 | 47 | 180 | 0.973 | 3.9610 | 0.994 | 3.5489 | 3.5489 個別処理 |
| 若山町上黒丸 | 14 5 | 5 19 | 9 41 | 2,112 | 100 | 164 | 264 | 7,354 | 251 | 103 | 354 | 5,178 | 151 | 74 | 225 | 0.746 | 3.4820 | 1.173 | 2.4517 | 個別処理 1.2未満では初期投資大きい分不利 |
| 若山町白滝 | 2 | 0 | 5 15 | 470 | 22 | 38 | 09 | 1,849 | 52 | 22 | 74 | 1,012 | 33 | 21 | 54 | 0.811 | 3.9340 | 1.111 | 2.1532 | 個別処理 1.2未満では初期投資大きい分不利 |
| 若山町南山 | = | 0 | 1 32 | 1,034 | 49 | 83 | 132 | 4,164 | 109 | 33 | 142 | 2,774 | 70 | 23 | 93 | 0.930 | 4.0271 | 1.419 | 2.6828 | 個別処理 中継ボンブが無い場合のみ集合処理 |
| 若山町上山(2) | 7 0 | 0 | 7 21 | 658 | 31 | 53 | 84 | 5,732 | 190 | 62 | 252 | 3,312 | 88 | 39 | 127 | 0.333 | 8.7112 | 0.661 | 5.0334 | 個別処理 |
| 若山町洲巻 | 10 0 | 0 10 | 0 29 | 940 | 44 | 75 | 119 | 3,639 | 593 | 198 | 791 | 10,601 | 427 | 185 | 612 | 0.150 | 3.8713 | 0.194 | 11.2777 | 個別処理 |
| 若山町二子(2) | 7 0 | 0 | 7 21 | 658 | 31 | 53 | 84 | 2,895 | 9/ | 28 | 104 | 2,450 | 70 | 39 | 109 | 0.808 | 4.3997 | 0.771 | 3.7234 | 個別処理 |
| 若山町正力 | 15 0 | 0 15 | 5 44 | 1,410 | 99 | 113 | 179 | 7,460 | 184 | 41 | 225 | 5,759 | 150 | 58 | 208 | 0.796 | 5.2908 | 0.861 | 4.0844 | 個別処理 |
| 若山町宗末 | 18 | 0 18 | 8 53 | 1,692 | 79 | 135 | 214 | 8,774 | 270 | 81 | 351 | 3,585 | 112 | 98 | 198 | 0.610 | 5.1856 | 1.081 | 2.1188 | 2.1188 個別処理 1.2未満では初期投資大きい分不利 |
| 岩山町中(2) | 55 3 | 3 58 | 161 | 5,452 | 257 | 436 | 693 | 24,486 | 723 | 222 | 945 | 13,922 | 456 | 277 | 733 | 0.733 | 4.4912 | 0.945 | 2.5536 | 個別処理 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| - - | | | | | | 0 | | 2 | 0 | i | 1 | | | | + | 100 | 1 | | | |
| /J\ | | | | | | 2,422 | | 315,042 | 9,736 | | 12,787 | 1 | | 1 | 1 | 0.674 | 4.0454 | | | |
| (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | 2,022 214 | 4 2,236 | 6 5,943 | 210,974 | 9,923 | 16,857 | 26,780 | 957,149 | 30,617 | 9,912 | 40,529 | | | | | 0.661 | 4.5368 | | | |

注1)人口減少を考慮している。 注2)費用対効果だけでなく、初期投資、財政負担、家屋の存続性も考慮して決定

計画支援概要

石 川 県

| | | <u>石 川 乐</u> |
|-----------|----------------------------|------------------------------|
| (1) 事業主体名 | 珠洲市 | |
| (2) 事業目的 | 次期最終処分場の整備目的とした最終処分均 | 易建設工事を実施するための計画支援 |
| (3) 事業名称 | 珠洲市一般廃棄物最終処分場 建設に係る測量業務 | 珠洲市一般廃棄物最終処分場 建設に係る地質調査業務 |
| (4)事業期間 | 平成29年度 | 平成29年度 |
| (5)事業概要 | ○測量 | 〇地質調査 |
| (6) 事業計画額 | 事業計画額 平成29年度 4,300千円 | 事業計画額 平成29年度 18,500千円 |

計画支援概要

石 川 県

| | | <u>有 川 宗</u> |
|-----------|------------------------------------|----------------------------------|
| (1) 事業主体名 | 珠洲市 | |
| (2) 事業目的 | 次期最終処分場の整備目的とした最終処分均 | 場建設工事を実施するための計画支援 |
| (3) 事業名称 | 珠洲市一般廃棄物最終処分場 建設に係る基本計画及び基本設計業務 | 珠洲市一般廃棄物最終処分場 建設に係る環境影響調査調査業務 |
| (4)事業期間 | 平成29~30年度 | 平成30~31年度 |
| (5)事業概要 | ○基本計画・基本設計 ○覆蓋施設基本設計 | 〇生活環境影響調査書作成 〇環境調査 |
| (6) 事業計画額 | 事業計画額 平成29~30年度 25,900千円 | 事業計画額 平成30~31年度 21,300千円 |

計画支援概要

石 川 県

| (1) 事業主体名 | 珠洲市 | |
|-----------|------------------------------|--------------------------|
| (2) 事業目的 | 次期最終処分場の整備目的とした最終処分均 | 易建設工事を実施するための計画支援 |
| (3) 事業名称 | 珠洲市一般廃棄物最終処分場 建設に係る実施設計業務 | |
| (4) 事業期間 | 平成31年度 | |
| (5)事業概要 | 〇実施設計 | |
| (6) 事業計画額 | 事業計画額 平成31年度 33,000千円 | |